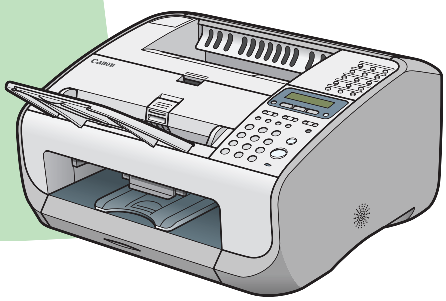
Canon

Canofax L230

操作ガイド（基本編）

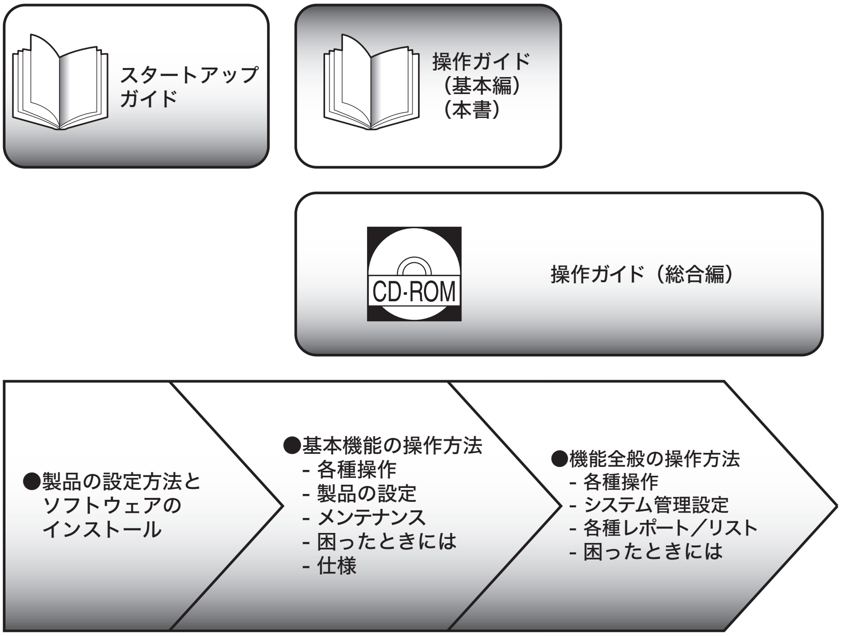
- こんなことができます
- お使いになる前に
- 原稿と用紙の取り扱い
- 送信する
- 受信する
- コピーする
- コンピュータからプリントする
- 日常のメンテナンス
- 困ったときには
- 各種機能の登録／設定
- 付録



ご使用前に必ず本書をお読みください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について



- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面などは予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

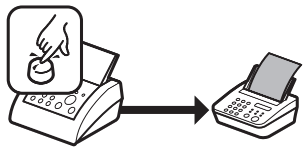
こんなことができます

ファクス機能

キー 1 つで宛先を指定する

ワンタッチダイヤル

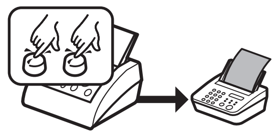
→　P.3-18



2 桁の番号で宛先を指定する

短縮ダイヤル

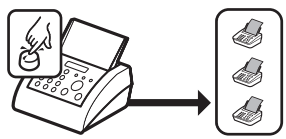
→　P.3-19



複数の宛先を 1 つの宛先として指定する

グループダイヤル

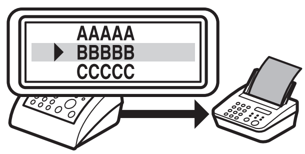
→　P.3-20



宛先を検索する

宛先表からのダイヤル

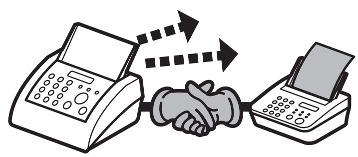
→　P.3-21



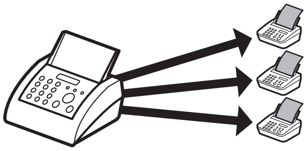
通話中の場合かけなおす

自動リダイヤル

→　操作ガイド（総合編）「第 3 章 送信と受信」「ファクスダイヤル機能」



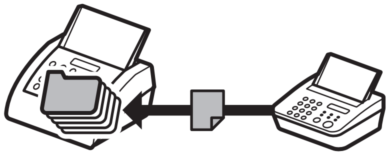
複数の宛先に文書を送る



同報送信

→　操作ガイド（総合編）「第３章　送信と受信」「送信応用機能」

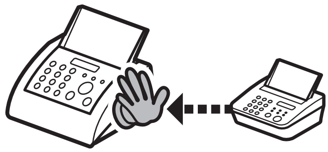
受信した文書をプリントしないでメモリに蓄積する



メモリ受信

→　操作ガイド（総合編）「第３章 送信と受信」「受信応用機能」

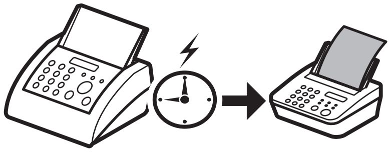
発信元情報が登録されていないファクス機からの受信を制限する



DM 制限

→　操作ガイド（総合編）「第３章 送信と受信」「受信応用機能」

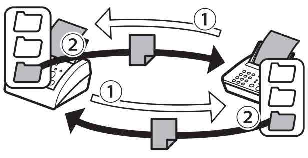
時間を指定してファクスを送る



タイマー送信

→　操作ガイド（総合編）「第３章　送信と受信」「送信応用機能」

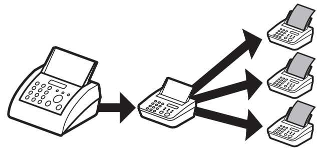
互いの要求に応じて文書を自動的に送受信する



ポーリング

→　操作ガイド（総合編）「第３章　送信と受信」「送信応用機能」

他のファクス機を中継して文書を送る

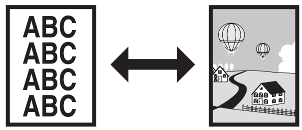


中継送信

→　操作ガイド（総合編）「第３章　送信と受信」「送信応用機能」

コピー機能

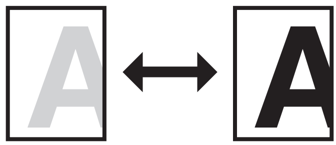
原稿の種類に合わせて、画質を調節する



コピー画質の調節

→　P.5-3

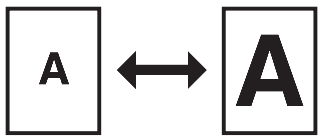
原稿の読み取り濃度を調整する



読み取り濃度の調節

→　P.5-4

コピーサイズを拡大／縮小する



拡大／縮小コピー

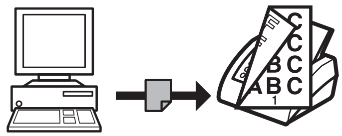
→　P.5-6

プリンタ機能

コンピュータからプリントする

プリント

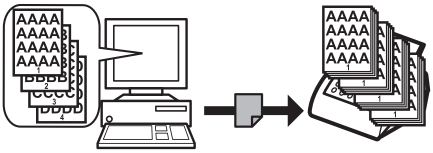
→ オンラインヘルプ



指定した部数をページ順にプリントする

ソートプリント

→ P.6-3

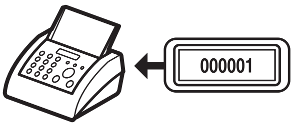


システム管理機能

システム管理設定の内容を暗証番号で保護する

システム管理設定

→ 操作ガイド（総合編）「第 6 章 システム管理設定」「システム管理暗証番号を設定する」



こんなことができます

目次

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品をお使いになる前に、安全のために以下の注意事項をよくお読みください。

安全にお使いいただくために

警告

本書で指示された部位を除き、本製品をご自分で分解したり、修理したりしないでください。感電などの原因になることがあります。本製品の修理については、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

取り扱いと保守／点検について

注意

プリントされた用紙は熱くなっている場合があります。排紙トレイから用紙を取り除くときや用紙を揃えるときは、やけどをしないように注意してください。

- 本製品に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。
- 本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 本製品を移動または清掃するときは電源コードを抜いてください。
- 紙づまりを防ぐために、プリント中は電源コードの抜き差し、トナーカバーの開閉、用紙の出し入れをしないでください。
- 本製品を移動する場合は、トナーカートリッジを必ず本体から取り外してください。
- トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。
- 持ち運ぶときは、本製品の左右にある取っ手をしっかりと持ってください。用紙給紙部や金具部分は、絶対に持たないでください。
- 本製品の内部に異物を入れないでください。異物が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品内部にピンやクリップ、ホチキスの針などの金属片を落とさないでください。
- 水などの液体をこぼさないように、本製品の近くでは飲食しないでください。
- 定期的に本製品を清掃してください。ほこりなどがたまると正しく動作しないことがあります。
- 電話回線の抵抗値と本製品の抵抗値の合計が 1700Ω を超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

・ 以下のような場合は電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
  ・ 電源コードやプラグが傷んだり、断線しているとき
  ・ 本製品の中に水などの液体がこぼれたとき
  ・ 本製品が雨や水に濡れたとき
  ・ 同梱の取扱説明書の手順どおりに操作しても本製品が正常に動作しないとき
    手順にない不正な調整をしてしまうと、故障の原因となったり、正常な動作に戻すまでに特殊な修理が必要となったりしますのでご注意ください。
  ・ 本製品を落としたり、傷つけたりしたとき
  ・ 本製品の動作に明らかに異常がみられるとき
・ 本製品の補修用性能部品およびトナーカートリッジの最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。
・ レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密封されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
  ・ 本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
  ・ 本製品に貼ってある以下の注意ラベルをはがさないでください。



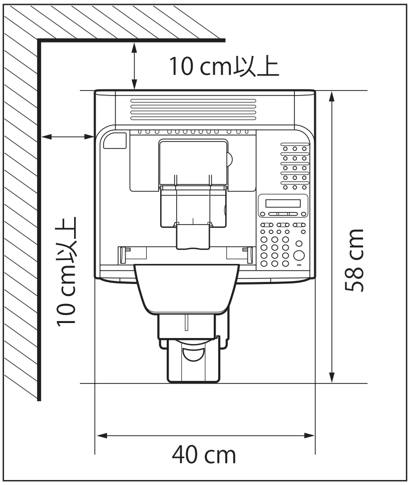
  ・ この製品は IEC60825-1:2007 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。
  ・ 万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

注意

ここに規定されている以外のことをした場合は、危険なレーザー光が漏れる可能性があります。

設置について

- 平らで、ぐらつきや振動がなく、本製品をしっかりと支えられる場所に設置してください。
- 涼しくて湿気やほこりがなく、風通しの良い場所に設置してください。
- ちりやほこりがない環境でお使いください。
- 高温多湿にならない環境でお使いください。
- 直射日光の当たる場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。窓の近くに設置する場合は、厚手のカーテンまたは日よけを窓に取り付けてください。
- 水気のある場所では使用しないでください。湿気を含んだ物を本製品に近づけないようにしてください。
- 屋外での使用や設置は避けてください。
- スピーカーなど磁気を含んだ機器や、磁界を生じる機器の近くに設置しないでください。
- 本製品の通気口を壁や物でふさがないように設置してください。また、ベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口がふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。通気口は壁や他の機器などから 10cm 以上離して設置してください。



＊トナーカバー部を持ち上げた場合、
奥行きは 60.2cm となります。

- いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。異常な音や煙、熱、変なにおいなどが発生した場合は、電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードを踏んだり、束ねたり、結んだりしないでください。
- 使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

電源について

- 雷が鳴ったら、電源コードを抜いてください。(電源コードを抜くと、メモリに保存されている原稿は消去されますので、ご注意ください。)
- 電源コードを抜いたときは差しなおすまでに 5 分以上間隔をおいてください。
- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。

警告

本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして直ちに、医師にご相談ください。

資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

● **使用済み複写機の受け入れ場所について**

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

Canon	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。 使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

● **使用済みトナーカートリッジなどの回収について**

使用済みとなったトナーカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

Canon	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。 使用済みトナーカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、「第 8 章 困ったときには」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター(巻末参照)にご連絡ください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや、役に立つ情報に下記のマークを付けています。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。

メモ

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

また本書では、操作するキー、ディスプレイに表示されるメッセージ、コンピュータ画面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

・ キー名称：[ストップ／リセット]
・ ディスプレイ：＜ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ＞
・ コンピュータ画面上のボタンおよび選択項目：[詳細設定]

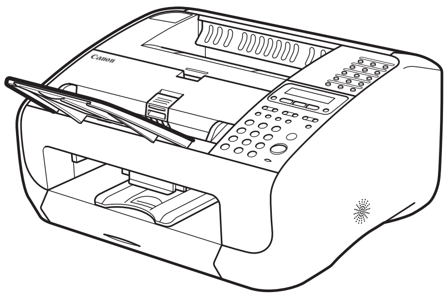
本書の操作説明で使用している操作パネル図中の番号は、操作手順の番号に対応しています。

略称について

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

イラストについて

本書で使われているイラストは、特にお断りがない限り、Canofax L230 にオプションが装着されていない場合のものです。



規制について

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の（）内の名称で登録されている場合があります。
L230（F152800）

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

高調波の抑制について

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

物質エミッションの放散に関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク No117「複写機 Version2.0」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しておりますキヤノン　FX-9　カートリッジを使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2002 の付録 3 ～ 5 に基づき試験を実施しました。）

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

● 著作物など
他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

● 通貨、有価証券など
以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

・ 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
・ 国債証券、地方債証券
・ 郵便為替証書
・ 郵便切手、印紙
・ 株券、社債券
・ 手形、小切手
・ 定期券、回数券、乗車券
・ その他の有価証券

● 公文書など
以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

・ 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
・ 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
・ 役所または公務員の印影、署名または記号
・ 私人の印影または署名

［関係法律］
・ 刑法
・ 著作権法
・ 通貨及証券模造取締法
・ 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券
・ 証券偽造変造及模造ニ関スル法律
・ 郵便法
・ 郵便切手類模造等取締法
・ 印紙犯罪処罰法
・ 印紙等模造取締法

商標について

Canon、Canon ロゴ、および Canofax はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

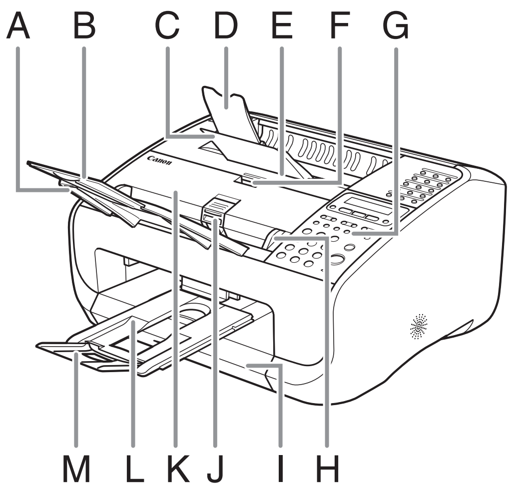
著作権について

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

1 お使いになる前に

各部の名称とはたらき



A　原稿給紙トレイ
原稿をセットします。

B　原稿給紙補助トレイ
引き出して使用します。

C　排紙トレイ
コピー、プリント、ファクスなどの出力紙を排出します。

D　排紙補助トレイ
引き出して使用します。

E　トナーカバー
トナーカートリッジの交換や、つまった用紙を取り除くときに開きます。

F　つまみ
トナーカバーを開くときに使用します。

G　操作パネル
本製品を操作します。

H　原稿ガイド
原稿の幅に合わせて調節します。

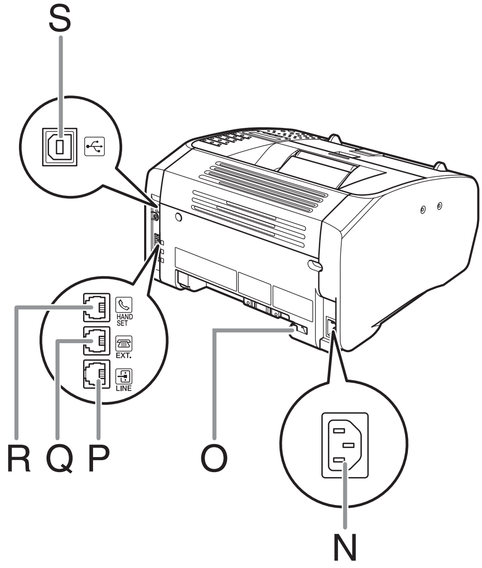
I　用紙カバー
用紙給紙部にセットされた用紙をほこりやチリから保護します。

J　原稿リリースレバー
つまった原稿を取り除くときにレバーを上にあげます。

K　ADF（自動原稿給紙装置）
セットされた原稿を自動的に読み込み位置に送ります。

L　原稿排紙トレイ
原稿が排出されます。

M　原稿排紙補助トレイ
引き出して使用します。



N　電源ソケット／アース端子
電源コードおよびアース線を接続します。

O　ハンドセットケーブル保持具
ハンドセットのケーブルを引っ掛けて固定します。

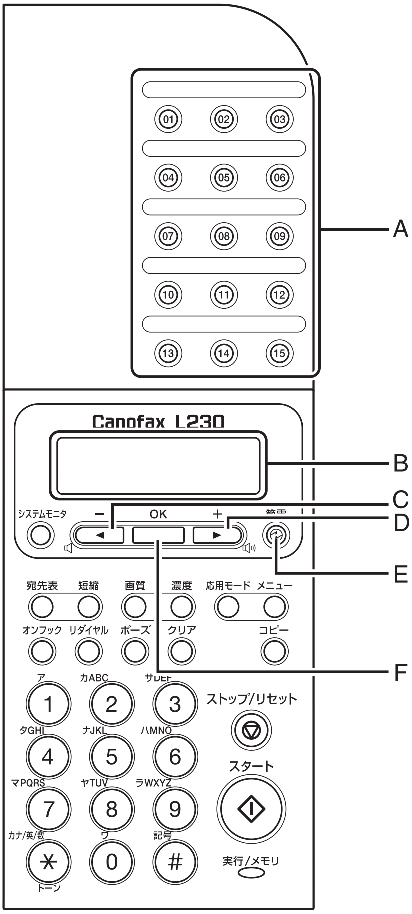
P　電話回線端子
電話線コードを接続します。

Q　外付け電話機用端子
必要に応じて外付け電話機を接続します。

R　ハンドセット端子
オプションのハンドセットを接続します。

S　USB ポート
USB ケーブルを接続します。

操作パネル



A　ワンタッチダイヤルキー
ワンタッチダイヤルに登録した宛先を指定するときに使います。

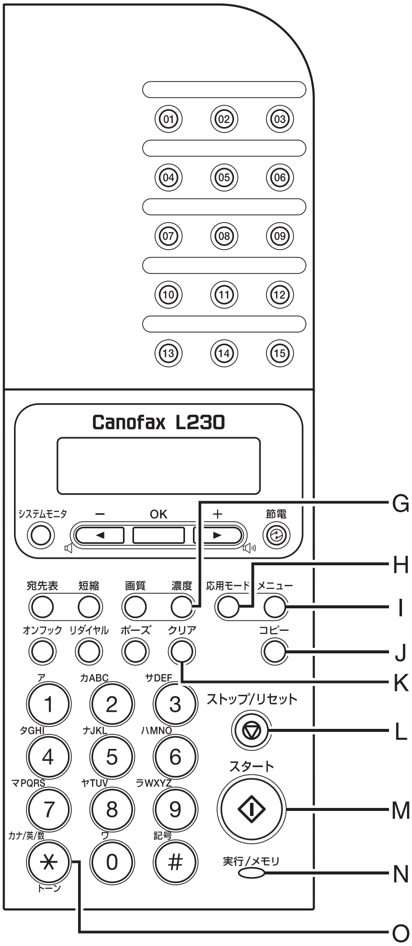
B　ディスプレイ
メッセージや動作状況を表示します。設定操作中は選択項目、テキスト、数字などを表示します。

C　［◄－］キー
設定する数値を下げるときに使います。また、前のメニュー項目を表示するときにも使います。

D　［＋►］キー
設定する数値を上げるときに使います。また、次のメニュー項目を表示するときにも使います。

E　［節電］キー
手動で節電状態に設定したり解除したりするときに使います。節電状態のときはグリーンに点灯します。

F　［OK］キー
設定、登録した内容を確定するときに使います。



G　［濃度］キー
コピーや送信原稿の濃度を調整するときに使います。

H　［応用モード］キー
ファクスの応用機能を設定するときに使います。

I　［メニュー］キー
各種の設定、登録をするときに使います。

J　［コピー］キー
コピーモードに切り替えます。

K　［クリア］キー
入力した文字や数字を削除するときに使います。

L　［ストップ／リセット］キー
ジョブを中止するときや待受画面に戻るときに使います。また、コピーモードのときに押すとファクスモードに切り替わります。

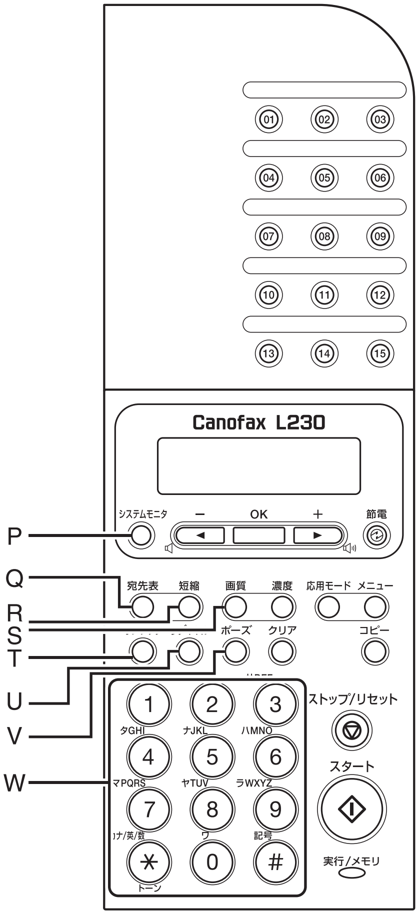
M　［スタート］キー
コピーやファクス送信などを開始するときに使います。

N　実行／メモリランプ
通信中または通話中のときに点滅します。待機中のジョブがあるとき、およびメモリにデータが蓄積されているときは点灯します。

メモ

実行／メモリランプの点灯時に電源コードを抜くと、メモリに蓄積されているファクス受信データはすべて消去されます。

O　［トーン］キー
プッシュ回線とダイヤル回線を切り替えるときに使います。



P　［システムモニタ］キー
プリント状況、送信状況、送受信履歴、メモリ残量、またはスキャンやプリント枚数を確認するときに使います。

Q　［宛先表］キー
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した宛先を相手先の名前から検索するときに使います。

R　［短縮］キー
短縮ダイヤルに登録した宛先を指定するときに使います。

S　［画質］キー
コピーやファクスの画質を設定するときに使います。

T　［オンフック］キー
外付け電話機の受話器またはオプションのハンドセットを置いたままダイヤルするときに使います。

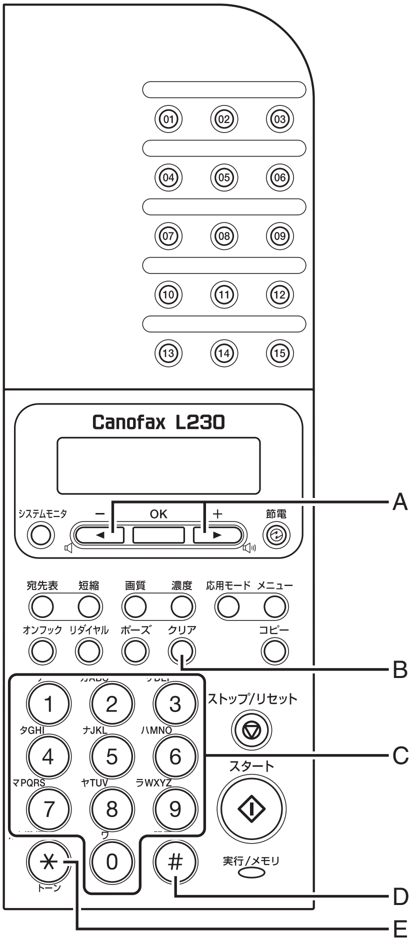
U　［リダイヤル］キー
最後にダイヤルした番号にリダイヤルするときに使います。

V　［ポーズ］キー
ファクス番号にポーズを挿入するときに使います。

W　テンキー
文字や数字を入力するときに使います。

文字の入力方法

宛先の登録の際などに、文字の入力を促す画面が表示されます。以下のボタンを使用して、文字を入力します。



A　カーソルを動かすには、[◄−] または [+►] を押します。

B　カーソルの位置で文字を削除するには、[クリア] を押します。文字をすべて削除するには、[クリア] を長押しします。

C　文字の入力は操作パネルのテンキーを使います。入力したい文字が表示されるまでテンキーを繰り返し押します。

D　記号を入力するには、[#] を押します。

E　入力モードを切り替えるには [＊] を押します。
[ｱ]：カナモード
[A]：アルファベットモード
[1]：数字モード
入力モードを切り替えることにより、以下の文字を入力できます。

＊	[ア]	[A]	[1]
1	アイウエオ		1
2	カキクケコ	ABCabc	2
3	サシスセソ	DEFdef	3
4	タチツテト	GHIghi	4
5	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8	ヤユヨ	TUVtuv	8
9	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0	ワヲン アイウエオヤユヨツ	0	
#	(スペース) ゛ (濁音) ゜ (半濁音) 。「」、・−	(スペース) − . ＊ # ! " , ; : ^ ` _ = / | ´ ? $ @ % & + ( ) [ ] { } < >	#

文字を入力する

例：「キヤノン」と入力します。

1 **画面入力モードが［ｱ］になっていることを確認します。**

例）

```
ナマエ                    [ア]
_
```

メモ

入力モードは［＊］を押すたびに、カナ→アルファベット→数字と変わり、数字の次は最初のカナに戻ります。

2 **②を繰り返し押して、「キ」を入力します。**

例）

```
ナマエ                    [ア]
キ
```

3 **⑧を繰り返し押して、「ヤ」を入力します。**

例）

```
ナマエ                    [ア]
キヤ
```

4 **⑤を繰り返し押して、「ノ」を入力します。**

例）

```
ナマエ                    [ア]
キヤノ
```

5 **⓪を繰り返し押して、「ン」を入力します。**

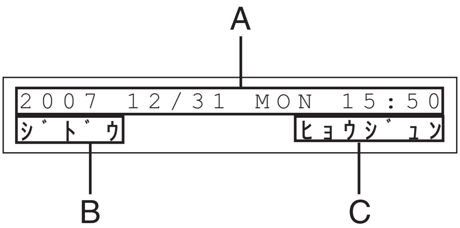
例）

```
ナマエ                    [ア]
キヤノン
```

6 **［OK］を押して、入力を確定します。**

ディスプレイ（待受画面）

ファクスモード

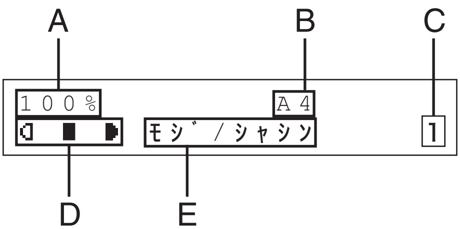


A　日付／時刻

B　受信モード

C　画質

コピーモード



A　ズーム倍率

B　用紙サイズ

C　部数

D　濃度

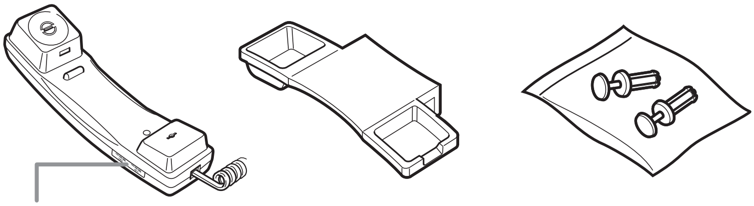
E　画質

メモ

- 電源コードを差し込むと、ディスプレイに＜シバラクオマチクダサイ＞、＜ウォーミング　アップチュウ…＞と表示したのち、待受画面に切り替わります。（＜ウォーミング　アップチュウ…＞については表示されない場合もあります。）
- 1 分間何も操作をしないと、ディスプレイがファクスモードの待受画面に切り替わります。

ハンドセット（オプション）

オプションのハンドセットを取り付けると相手先と通話したりファクスを手動受信できます。ハンドセットを購入の際はお近くのキヤノン販売店またはお客様相談センターにご連絡ください。



ペンなどの先のとがったものを使って呼び出し音量を調整します。

メモ

ハンドセットの取り付け方法については、スタートアップガイド「ファクス送信の前に」「オプションハンドセットを取り付ける」を参照してください。

● ハンドセットの保守管理について

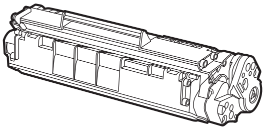
・ 直射日光にさらしたままにしないでください。
・ 高温多湿な場所で使用または保管しないでください。
・ 損傷する恐れがあるためエアゾールスプレーを使用しないでください。
・ 汚れをとる際は湿らせた布で拭き取ってください。

トナーカートリッジ

本製品に対応するキヤノン純正スターターカートリッジ（同梱用）の寿命は、約 1,000 ページです。また、交換用のキヤノン純正カートリッジの寿命は、約 2,000 ページです。このページ数は印字率 5%* で A4 サイズの用紙に印刷した場合の値です。トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図、表、グラフなどを多用した、空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、トナーカートリッジの寿命が短くなります。トナーカートリッジの交換の際は、必ず本製品専用のトナーカートリッジを使用してください。

*「印字率 5%」とは、用紙全体に対してトナーでカバーされる面積が 5%であることをいいます。

トナーカートリッジ名：
FX-9　カートリッジ



機種名	種類	対応するキヤノン純正カートリッジ	印字枚数
L230	同梱用	FX-9S　スターターカートリッジ	A4 サイズで約 1,000 枚
	交換用	FX-9　カートリッジ	A4 サイズで約 2,000 枚

トナーカートリッジの取り扱い

- トナーカートリッジをコンピュータ画面やディスクドライブ、フロッピーディスクなどに近づけないでください。トナーカートリッジ内部のマグネットによって破損する恐れがあります。
- トナーカートリッジは、高温多湿や急激に温度が変化するような場所および火気のある場所に保管しないでください。
- トナーカートリッジを、直射日光や電灯の光に 5 分以上さらさないでください。
- トナーカートリッジは保護袋に入れて保管し、本製品に取り付けるまで保護袋から取り出さないでください。
- トナーカートリッジの保護袋は保管しておいてください。本製品を移動するときなどに必要になります。
- トナーカートリッジを、塩分を含んだ空気や、エアゾールスプレーなどから出る腐食性ガスが充満している場所に保管しないでください。
- 必要なとき以外は、トナーカートリッジを取り外さないでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、ドラム保護シャッターに触れないように必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを立てて置いたり、逆さにしたりしないでください。トナーカートリッジ内部でトナーが固まってしまい、振っても元に戻らなくなることがあります。
- トナーカートリッジの偽造品にご注意ください。トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」を使用されますと、印字品質の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されないことがあります。「偽造品」を含む非純正トナーカートリッジに起因する故障や事故につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは、下記 Web サイトを参照してください。
  http://www.canon.com/counterfeit/
- 使用済みトナーカートリッジを廃棄する場合は、トナー容器を保護袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジを本体から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

⚠ 注意

トナーが発火してやけどの原因になることがあるので、トナーカートリッジを火の中に投げ入れないでください。

消耗品のご購入相談窓口

お買い求めの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。ご不明な場合は巻末のキヤノンお客様相談センター（巻末参照）までお問い合わせください。

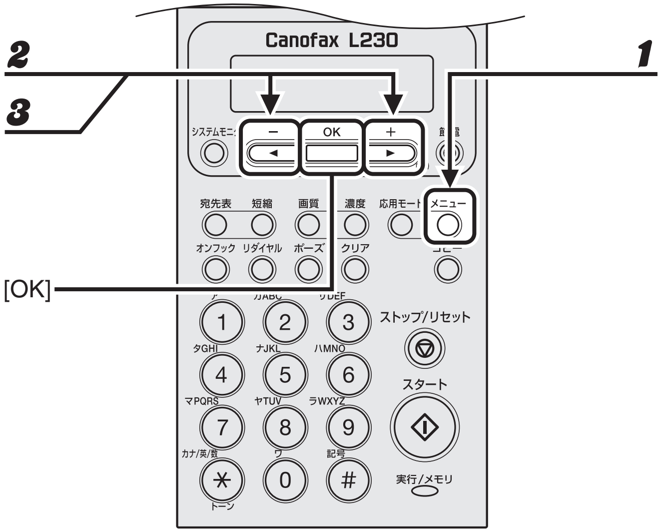
電話回線の設定

電話回線の種類を設定する

初期設定では、電話回線の種別は自動的に判別されるように設定されています。電話回線の種別を自動的に判別する場合は、以下の設定をする必要はありません。なお、構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合は、電話回線の種別が自動的に判別されないことがあります。自動的に判別されない場合は、以下の手順に従い手動で設定してください。工場出荷時の初期値は＜ジドウ＞に設定されています。

メモ

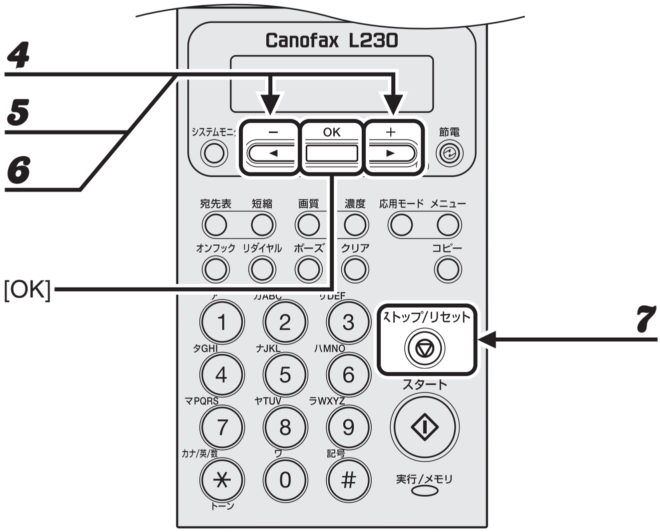
電話回線の種別を自動的に判別する場合は、電話線コードを接続してから、電源コードを接続してください。電源コードを先に接続した場合、電話回線の種別は自動的に判別されません。



1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◄ −] または [+ ►] を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◄ −] または [+ ►] を押して＜キホントウロク＞を選択し、[OK] を押します。**



4 [◄−] または [+►] を押して<カイセン　シュルイ　センタク>を選択し、[OK] を押します。

5 [◄−] または [+►] を押して<シュドウ>を選択し、[OK] を押します。

6 [◄−] または [+►] を押して電話回線の種類を選択し、[OK] を押します。

<プッシュカイセン>：お使いの電話がトーン回線の場合に選択します。
<ダイヤルカイセン>：お使いの電話がパルス回線の場合に選択します。<ダイヤルカイセン>を選択した場合、回線速度を< 20PPS >か< 10PPS >から選択します。工場出荷時の初期値は< 20PPS >に設定されています。

メモ

お使いの電話回線の種類が分からない場合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

7 [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

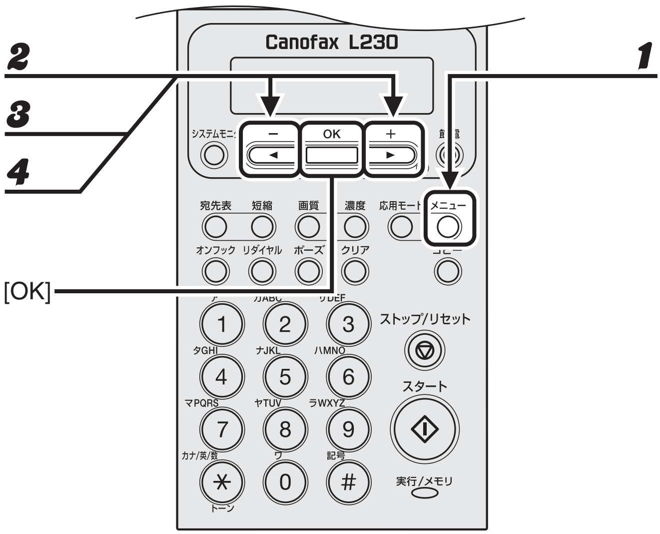
タイマー設定

スリープモードを設定する

本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。スリープモードに移行すると、[節電] がグリーンに点灯し、他のランプやディスプレイの表示は消えた状態になります。
工場出荷時の初期値は< ON >と< 5 フン>に設定されています。

メモ

以下の状態の場合は、スリープモードになりません。
- 本製品が操作中の場合
- 実行／メモリランプが点灯または点滅している場合
- エラーメッセージがディスプレイに表示されている場合
- 本体内で紙づまりが発生している場合
- 外付け電話機の受話器またはオプションのハンドセットが外れている場合

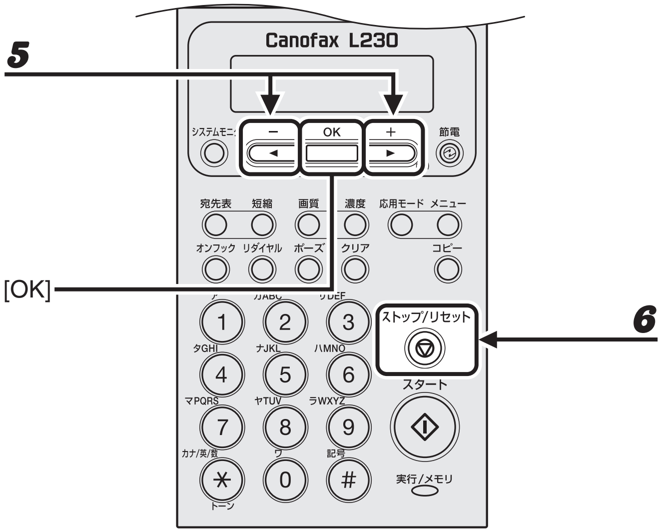


1 [メニュー] を押します。

2 [◄ –] または [+ ►] を押して<タイマー　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

3 [◄ –] または [+ ►] を押して<オートスリープ>を選択し、[OK] を押します。

4 [◄ –] または [+ ►] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。



5 ［◄ −］または［+ ►］を押して時間を選択し、［OK］を押します。

時間は 3 分〜 30 分の間で設定できます（1 分刻み）。
テンキーを使って数値を入力することもできます。

メモ

初期値は 5 分に設定されています。

6 ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

メモ

- スリープモードに移行すると、［節電］キーがグリーンに点灯します。
- スリープモードから復帰するには、［節電］を押してください。
- 手動でスリープモードにするには、［節電］を押してください。
- 以下の状態の場合は、スリープモードが解除されます。
  - ［節電］が押された場合
  - ファクスを受信した場合
  - 外付け電話の受話器またはオプションのハンドセットが外れている場合
  - コンピュータからプリントジョブが送信され、プリントが開始された場合

2 原稿と用紙の取り扱い

使用可能な原稿

サイズ（幅×長さ）	枚数（75g/m^2 の用紙）	坪量
最大 216mm × 400mm 最小 148mm × 105mm	- A4 またはレター：最大 30 枚 - リーガル：最大 10 枚 （積載高さ 5mm 以下）	64 ～ 105g/m^2

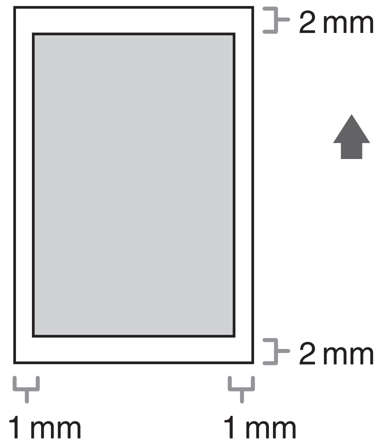
メモ

ファインアート紙を使用する場合は、厚さ 0.1mm 以上のものを使用してください。

- のり、インク、修正液が完全に乾いてから、原稿をセットしてください。
- ADF 内で原稿がつまるのを防ぐために、以下のものは使用しないでください。
  - しわや折り目のある原稿
  - カーボン紙やカーボンバック紙
  - カールした、または巻いた紙
  - コート紙
  - 破れた原稿
  - 薄質半透明紙や薄紙
  - ホッチキスの針またはクリップが付いた紙
  - 熱転写プリンタでプリントされた紙
  - OHP フィルム

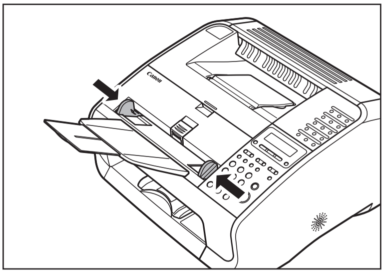
読み取り範囲

原稿の文字や画像が、以下の図の淡色部分に収まっていることを確認してください。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。

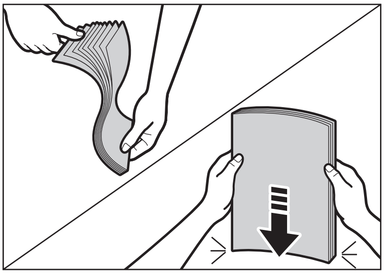


原稿をセットする

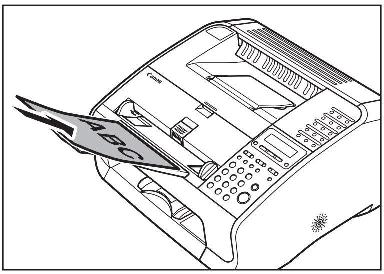
1 **原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。**



2 **原稿をさばいてから、平らな場所で原稿の縁をそろえます。**



3 **読み取る面を上にして、ADF に原稿をセットします。**



原稿を読み込む準備ができました。

使用可能な用紙

サイズ（幅×長さ）	A4、B5*1、A5*1、エグゼクティブ *1、封筒 *1（洋形 4 号、洋形 2 号）、郵便はがき *1、郵便往復はがき *1、オフィシオ、ブラジルーオフィシオ、メキシコーオフィシオ、フォリオ、ガヴァメントーレター、ガヴァメントーリーガル、FOOLSCAP、レター、リーガル、ユーザ定義用紙 *1（76 × 127 ～ 216 × 356mm）
坪量	64 ～ 128g/m²
枚数（80g/m² の用紙）	最大 150 枚 （積載高さ 15mm 以下）
用紙の種類	普通紙（64g/m² ～ 90g/m²）、再生紙（64g/m² ～ 80g/m²）*2、厚紙（105g/m² ～ 128g/m²）、OHP フィルム

*1 コンピュータからプリントするときに使用可能な用紙です。
*2 再生紙は、古紙配合率 100%の再生紙も使用できます。

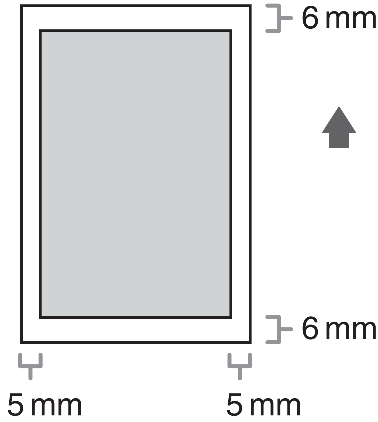
メモ

- 用紙サイズの初期値は A4 です。別の用紙サイズを使用する場合は、用紙サイズの設定を変更してください。
  （→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-9）
- OHP フィルムは最大 100 枚までセットできます。

- 紙づまりを防ぐため、以下の用紙は使用しないでください。
  - しわや折り目のある紙
  - カールした、または巻いた紙
  - コート紙
  - 破れた紙
  - 湿った紙
  - 非常に薄い紙
  - 熱転写プリンタでプリントされた紙（裏面にコピーしないでください。）
- 以下の用紙ではプリントが不鮮明になります。
  - 目の粗い紙
  - つるつるした紙
  - 光沢紙
- 用紙にほこり、糸くず、油のしみが付かないようにしてください。
- 用紙を大量に購入する際は、事前に用紙を試してください。
- 用紙は包装紙で包み、平らな場所で保管してください。開封した用紙は元の包装紙で包みなおし、涼しい乾燥した場所で保管してください。
- 用紙は室温 18 ℃～ 24 ℃、相対湿度 40%～ 60%の場所で保管してください。
- OHPフィルムは、レーザプリンタ用のものを使用してください。キヤノン機専用のOHPフィルムをお使いになるようお勧めします。
- インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。

プリント範囲

淡色部分は、A4 サイズ用紙のプリント範囲の目安です。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。



用紙をセットする

用紙給紙部に用紙をセットする方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙をセットする」を参照してください。

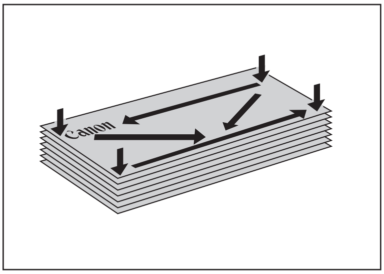
封筒／はがきをセットする

封筒およびはがきをセットする方法について説明します。ここでは封筒を例にとって説明しますが、はがきについても手順４以外は同じ手順になります。はがきをセットする場合は手順２から開始し、手順４以外の封筒記載部分をはがきに置き換えて読んでください。

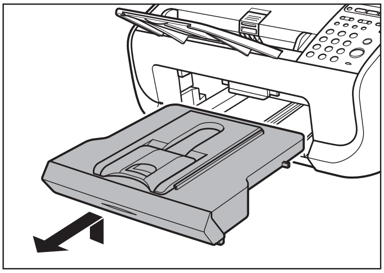
- 封筒については洋形４号または洋形２号、はがきについては郵便はがきまたは郵便往復はがきを使用してください。
- 封筒がつまるのを防ぐために、以下のものは使用しないでください。
  - ・ 窓付き、穴あき、ミシン目付き、切り込みがある、フタが二重になっている封筒
  - ・ 特殊のコート紙の封筒や深い浮き出しのある封筒
  - ・ 剥離紙のついた封筒
  - ・ 中身の入った封筒
- プリンタドライバで正しい封筒／はがきサイズを設定してください。（オンラインヘルプを参照してください。）

1 **安定した清潔な台の上に封筒の束を置き、四隅を押して端を揃えます。**

封筒の周りを押してまっすぐに伸ばし、中の空気を抜いてください。また、フタの部分も十分に押してください。



2 **用紙カバーを持ち上げて引き出します。**

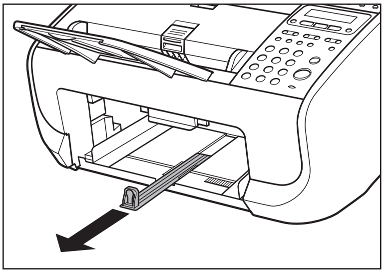


原稿と用紙の取り扱い

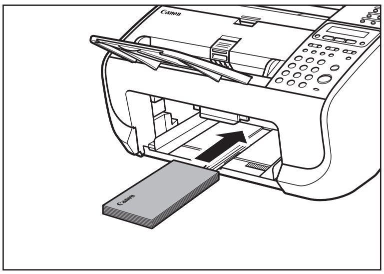
メモ

引き出す際は用紙カバーの後端が用紙後端ガイドに引っかからないようにしてください。

3　用紙後端ガイドを引き出します。

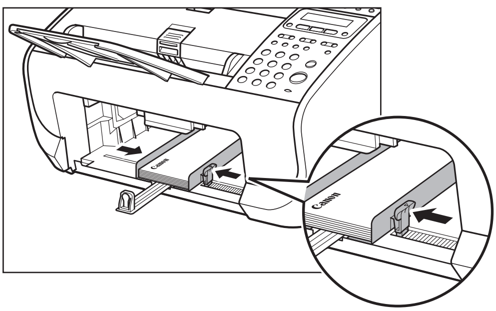


4　印刷する面を上にして封筒の束をセットします。



はがきの場合は、印刷する面を上にし、はがきの上端が本製品を前面から見て奥側になるようにセットします。

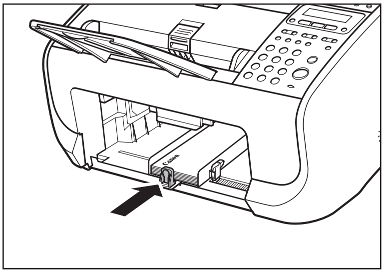
5　左右の用紙ガイドを封筒の幅に合わせます。



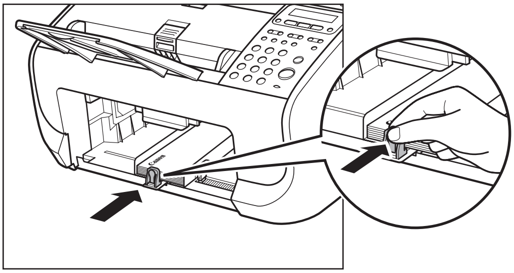
メモ

ガイドが用紙のサイズに合っていないと、きちんとプリントされないことがあります。

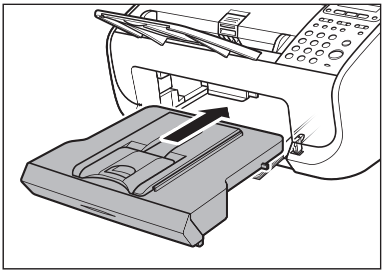
6 用紙後端ガイドをスライドさせ、封筒の先端に合わせます。



7 用紙後端ガイドをつまみながら、封筒サイズの位置に合うようスライドさせます。



8 用紙カバーを取り付けます。

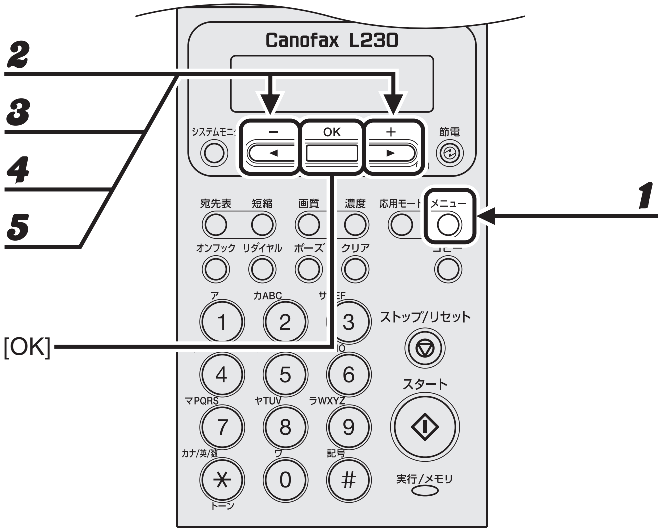


メモ

取り付ける際は用紙カバーの後端が原稿読み取り部に引っかからないようにしてください。

用紙のサイズと種類を設定する

初期値は、＜フツウシ＞と＜ A4 ＞です。別の用紙種類やサイズをセットする場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。



1 [メニュー] を押します。

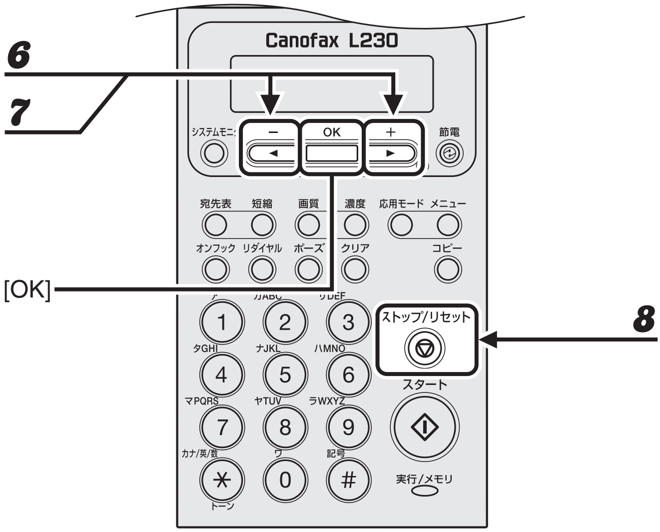
2 [◄ −] または [＋ ►] を押して＜ヨウシ　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

3 [◄ −] または [＋ ►] を押して＜カセット＞を選択し、[OK] を押します。

4 [◄ −] または [＋ ►] を押して＜ヨウシ　サイズ＞を選択し、[OK] を押します。

5 [◄ −] または [＋ ►] を押して用紙のサイズを選択し、[OK] を 2 回押します。

以下の用紙サイズを選択できます。
＜ A4 ＞、＜ OFICIO ＞、＜ BRAZIL-OFFICIO ＞、＜ MEXICO-OFFICIO ＞、＜ FOLIO ＞、＜ GOVERNMENT-LETTER ＞、＜ GOVERNMENT-LEGAL ＞、＜ FOOLSCAP ＞、＜ LTR ＞、＜ LGL ＞



6　**[◄ −] または [+ ►] を押して＜ヨウシノ　シュルイ＞を選択し、[OK] を押します。**

7　**[◄ −] または [+ ►] を押して用紙の種類を選択し、[OK] を押します。**

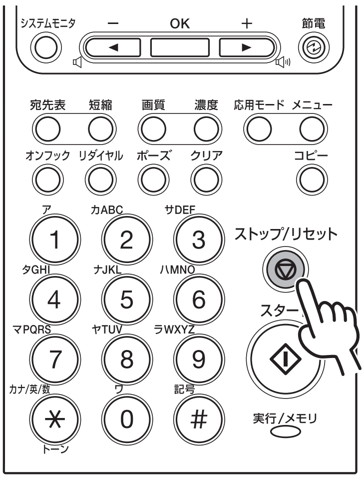
以下の紙種を選択することができます。
普通紙（64g/m^2 ～ 90g/m^2）：＜フツウシ＞、＜フツウシ L ＞*1
厚紙（105g/m^2 ～ 128g/m^2）：＜アツガミ＞、＜アツガミ H ＞*2
OHP フィルム：＜ OHP　フィルム＞
*1 ＜フツウシ＞を選択してプリントすると用紙がひどくカールする場合は、＜フツウシ L ＞を選択してください。
*2 ＜アツガミ＞を選択してプリントすると文字が薄くなる場合は、＜アツガミ H ＞を選択してください。

8　**[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。**

3 送信する

以下の手順に従って原稿を送信してください。
応用機能については、操作ガイド（総合編）「第 3 章 送信と受信」「送信応用機能」を参照してください。

1 ファクスモードを選択する

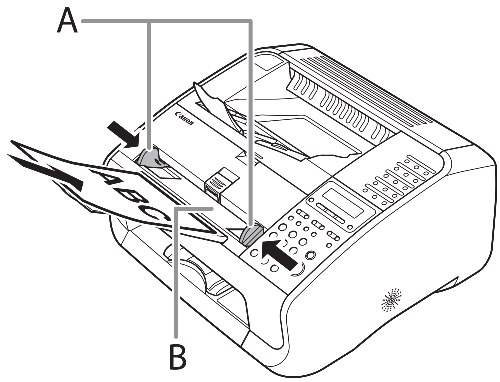


コピーモードになっている場合は、[ストップ／リセット］を押してファクスモードに切り替えます。

こんなときは ...

- **画質や濃度を調整するとき：**
  「読み込み設定」（→ P.3-3）を参照してください。

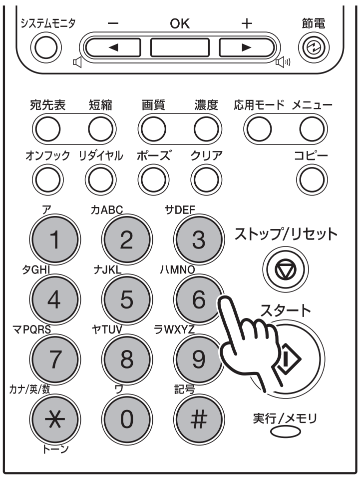
2 原稿をセットする



原稿ガイド（A）を原稿の幅に合わせ、読み取る面を上にして、ADF（B）に原稿をセットします。

使用できる原稿については「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。

3 宛先を指定する



テンキーを使って相手先のファクス番号を入力します。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなど、スピードダイヤルを使って宛先を指定することもできます。（→宛先を指定する：P.3-18）

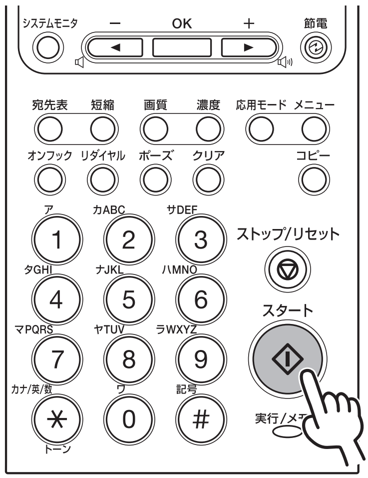
例）

```
☎=012XXXXXXX_
```

こんなときは ...

- **ファクス番号を消去するとき：**
  ［◄—］を押して消去する番号にカーソルを移動し［OK］を押します。入力内容を 1 度にすべて消去する場合は、［クリア］を長押しします。

4 原稿を送信する



［スタート］を押します。

こんなときは ...

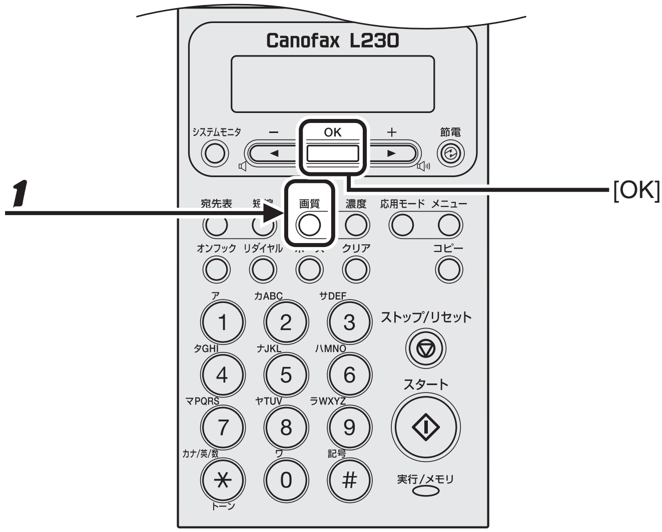
- **ファクス送信を中止するとき：**
  ［ストップ／リセット］を押します。
  ＜ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示されたら、［◄—］を押して＜ハイ＞を選択します。

読み込み設定

送信原稿の種類に合わせて、画質と濃度を調整できます。高い画質に設定すると、出力画像は鮮明になりますが、通信速度は遅くなります。

画質を調節する

工場出荷時の初期値は＜ヒョウジュン＞に設定されています。



1 **［画質］を繰り返し押して希望の画質を選択し、［OK］を押します。**

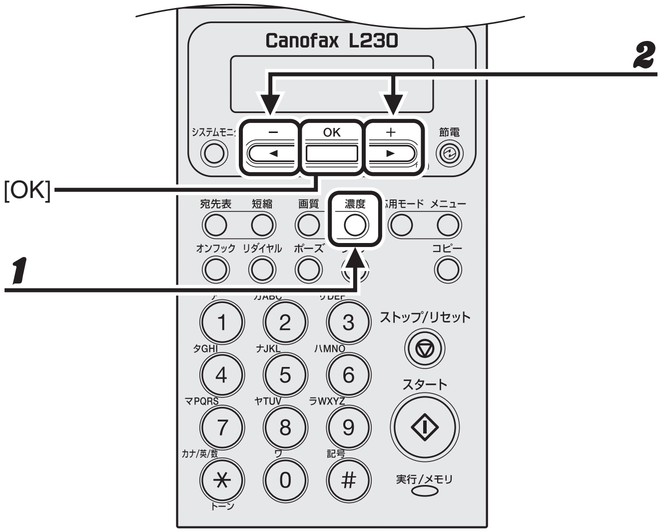
＜ヒョウジュン＞：文字のみの原稿に適しています。（200 × 100dpi）
＜ファイン＞：文字の細かい原稿に適しています（解像度は＜ヒョウジュン＞の 2 倍）。（200 × 200dpi）
＜シャシン＞：写真を含む原稿に適しています（解像度は＜ヒョウジュン＞の 2 倍）。（200 × 200dpi）
＜スーパーファイン＞：細かい文字と画像を含む原稿に適しています（解像度は＜ヒョウジュン＞の 4 倍）。（200 × 400dpi）

メモ

本手順で画質調整した場合は、読み込みが終了すると、設定値が初期値に戻ります。基本設定として登録したい場合は、［メニュー］→＜ファクスセッテイ＞→＜キホントウロク＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜ガシツ＞で設定登録を行ってください。（→メニューの設定内容：P.9-3）

濃度を調節する

工場出荷時の初期値は（5）に設定されています。



1　**［濃度］を押します。**

2　**［◄ －］または［＋ ►］を押して濃度を選択し、［OK］を押します。**

例）

```
ヨミトリ ノウド
－ウスク ◖□□□□■□□□□◗ コク＋
```

［◄－］：原稿の濃度を薄くします。
［＋►］：原稿の濃度を濃くします。

メモ

本手順で手動調整した場合は、読み込みが終了すると、設定値が初期値に戻ります。基本設定として登録したい場合は、［メニュー］→＜ファクスセッテイ＞→＜キホントウロク＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜ヨミトリ　ノウド＞で設定登録を行ってください。（→メニューの設定内容：P.9-3）

宛先を登録／編集／削除する

原稿の送信先はテンキー入力の他、宛先登録機能を使って指定できます。テンキーでは宛先を1字ずつ入力するのに対し、宛先登録機能ではよく利用する宛先をあらかじめ登録しておくことで原稿送信時に宛先を入力する手間を省くことができます。このように宛先をあらかじめ登録しておくことのできる機能を宛先表と呼び、宛先表を使って素早く簡単に宛先を指定する方法をスピードダイヤルと呼びます。スピードダイヤルを使った宛先の指定方法は以下の種類があります。

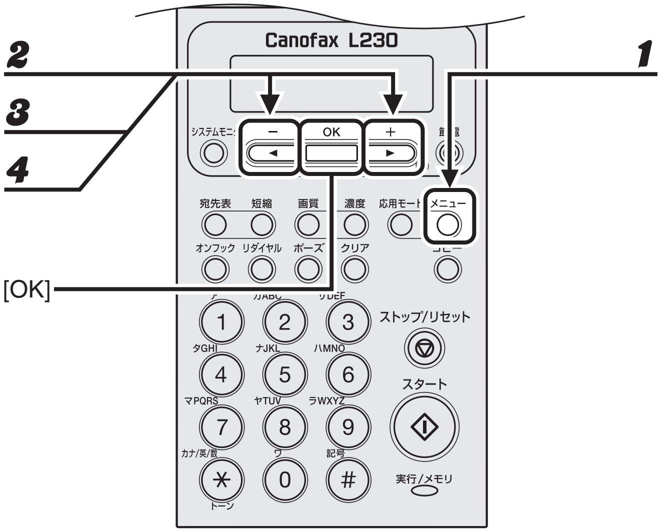
- ワンタッチダイヤル
  - 登録済みの宛先を1回のキー操作で呼び出す機能です。最大15件まで宛先を登録できます。
  - 原稿送信時は、登録先のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 15）を押すだけで宛先を指定できます。
- 短縮ダイヤル
  - 登録済みの宛先を短縮番号を使って呼び出す機能です。最大100件まで宛先を登録できます。
  - 原稿送信時は、[短縮] を押したあと、2桁の登録先番号（00 ～ 99）を入力するだけで宛先を指定できます。
- グループダイヤル
  - ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルとして登録済みの各宛先を 1 つのグループにまとめて登録する機能です。複数の宛先を1つの宛先として登録するため、1度に送信する相手先が多い場合でも宛先指定操作が簡単に行えます。
  - グループダイヤルの登録先は未登録のワンタッチダイヤルで、1つのグループダイヤルには最大50件まで宛先を登録できます。
  - 原稿送信時の宛先指定操作はワンタッチダイヤルと同様になります。
- 宛先表キーによる指定
  - ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル／グループダイヤルとして登録済みの宛先を相手先の名前から検索して指定できます。登録先を忘れてしまった場合などに便利な機能です。
  - 原稿送信時は、[宛先表] を押したあと、相手先の名前から検索して指定できます。

メモ

- 文字入力のしかたについては、「文字の入力方法」（→ P.1-6）を参照してください。
- 登録済みの宛先については、宛先一覧表を出力して参照できます。（→レポート設定：P.9-9）

ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する

● ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録する



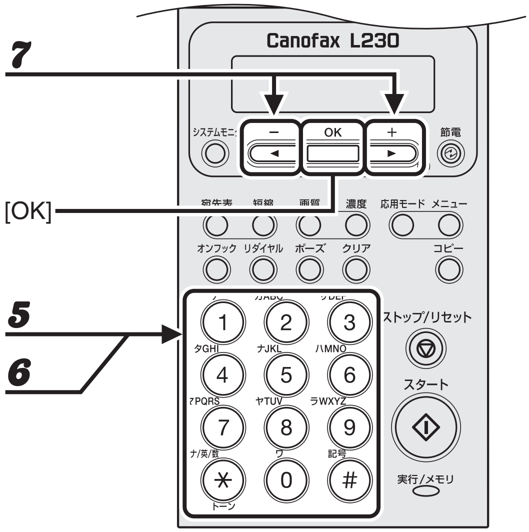
1 [メニュー] を押します。

2 [◄ −] または [+ ►] を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、[OK] を押します。

3 [◄ −] または [+ ►] を押して<ワンタッチ　ダイヤル>または<タンシュク　ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。

4 [◄ −] または [+ ►] を押して登録するワンタッチダイヤル（01 〜 15）または短縮ダイヤル（00 〜 99）を選択し、[OK] を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 〜 15）を押します。
短縮ダイヤル：[短縮] を押したあと、テンキーを使って 2 桁の番号（00 〜 99）を入力します。



5　テンキーを使って相手先の名前（スペースを含め最大 20 文字）を入力し、[OK] を押します。

例）

```
ナマエ                 [ア]
キヤノ
```

6　テンキーを使って登録するファクス番号（スペースとポーズを含め最大 50 桁）を入力し、[OK] を押します。

例）

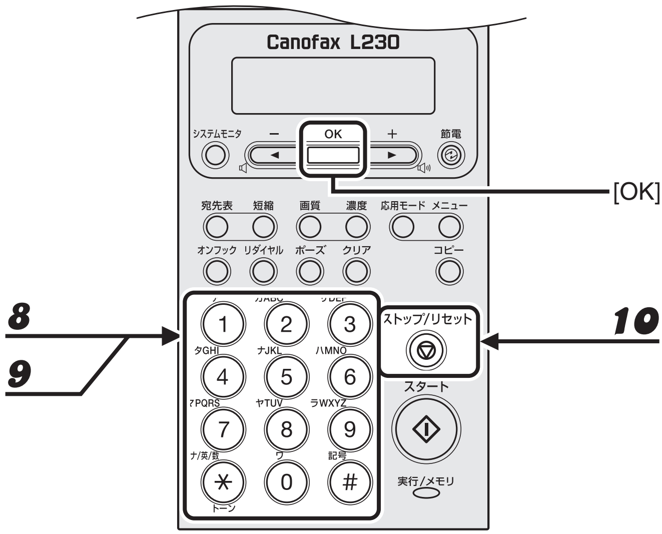
```
デンワバンゴウ
012XXXXXXX_
```

7　[◄－] または [＋►] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。

以下の項目も設定する場合は、< ON >を選択します。設定しない場合は、< OFF >を選択して［OK］を押したあと、[ストップ／リセット］を押して登録操作を完了します。

< F コード>：ファクス内にはメモリと呼ばれる画像情報を記憶する装置があり、F コードはメモリ内の特定の場所を示すために使われる番号です。相手先のファクス機と ITU-T 規格で原稿を送受信するときは、ファクス番号のほかに F コードと暗証番号を付加します。F コードを使うことにより、F コードをサポートしている他社の機種とポーリング受信などの機能を利用して通信することができます。

<アンショウバンゴウ>：F コード通信に使用する暗証番号を設定します。



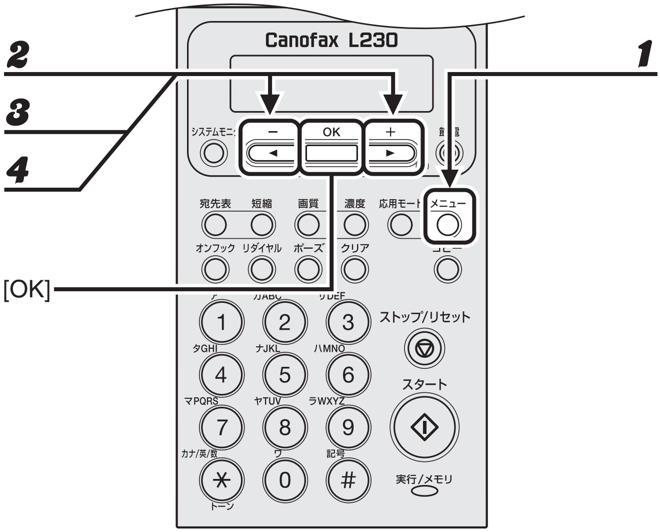
8 **テンキーを使って F コード（最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。**

登録する際は相手先が F コード通信に対応しているかどうかをあらかじめ確認してください。

9 **テンキーを使って暗証番号（最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。**

10 **[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。**

● ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを編集する



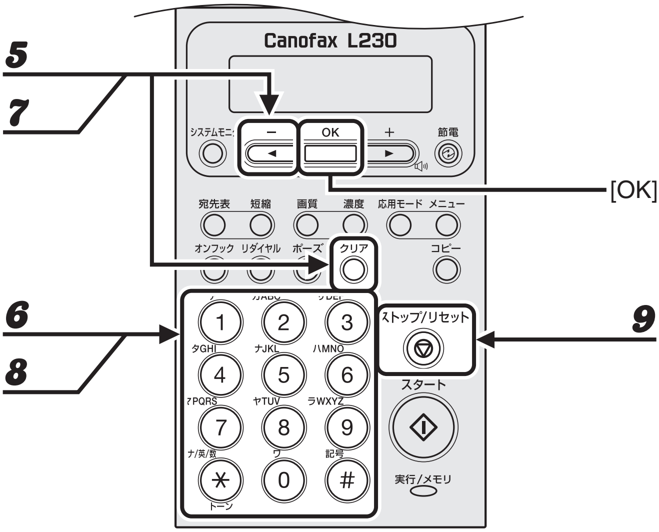
1 [メニュー] を押します。

2 [◄ −] または [+ ►] を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

3 [◄ −] または [+ ►] を押して＜ワンタッチ　ダイヤル＞または＜タンシュク　ダイヤル＞を選択し、[OK] を押します。

4 [◄ −] または [+ ►] を押して編集するワンタッチダイヤル（01 ～ 15）または短縮ダイヤル（00 ～ 99）を選択し、[OK] を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 15）を押します。
短縮ダイヤル：[短縮] を押したあと、テンキーを使って 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。



5 [◄ −] を押して変更する文字にカーソルを移動し、[クリア] を押します。

入力内容をすべて消去する場合は、[クリア] を長押しします。

6 テンキーを使って新しい名前を入力し、[OK] を押します。

7 [◄ −] を押して変更する番号にカーソルを移動し、[クリア] を押します。

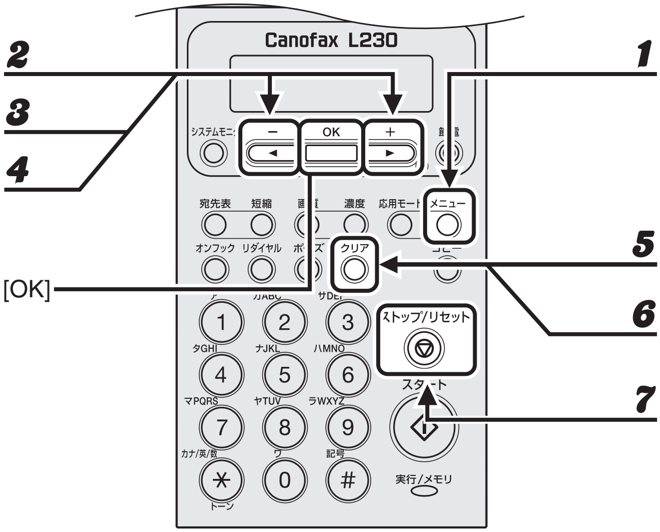
入力内容をすべて消去する場合は、[クリア] を長押しします。

8 テンキーを使って新しい番号を入力し、[OK] を押します。

必要に応じて、＜Ｆコード＞と＜アンショウバンゴウ＞の設定も変更できます。

9 [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

● ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを削除する



1　**[メニュー] を押します。**

2　**[◄ー] または [＋►] を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、[OK] を押します。**

3　**[◄ー] または [＋►] を押して＜ワンタッチ　ダイヤル＞または＜タンシュク　ダイヤル＞を選択し、[OK] を押します。**

4　**[◄ー] または [＋►] を押して削除するワンタッチダイヤル（01 ～ 15）または短縮ダイヤル（00 ～ 99）を選択し、[OK] を押します。**

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 15）を押します。
短縮ダイヤル：[短縮] を押したあと、テンキーを使って 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。

5　**[クリア] を長押しして名前を削除し、[OK] を押します。**

6　**[クリア] を長押しして番号を削除し、[OK] を押します。**

メモ

番号を消去した場合は、相手先の名前など他の登録内容も自動的にすべて消去されます。

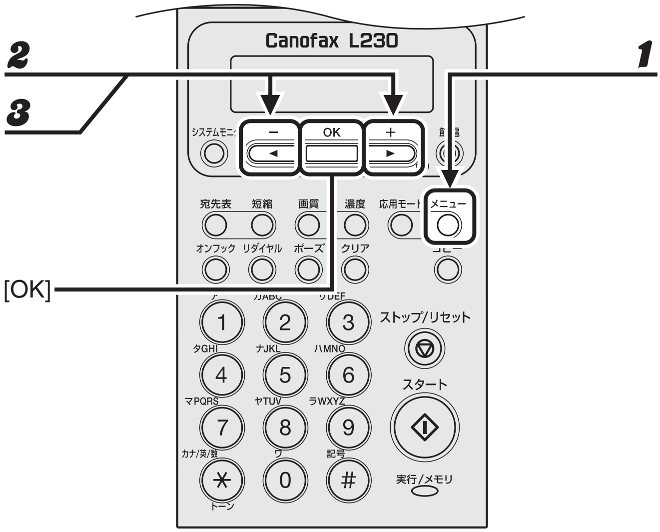
7　**[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。**

グループダイヤルを登録／編集する

メモ

グループダイヤルを登録する際は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに宛先を登録しておいてください。

● グループダイヤルを登録する



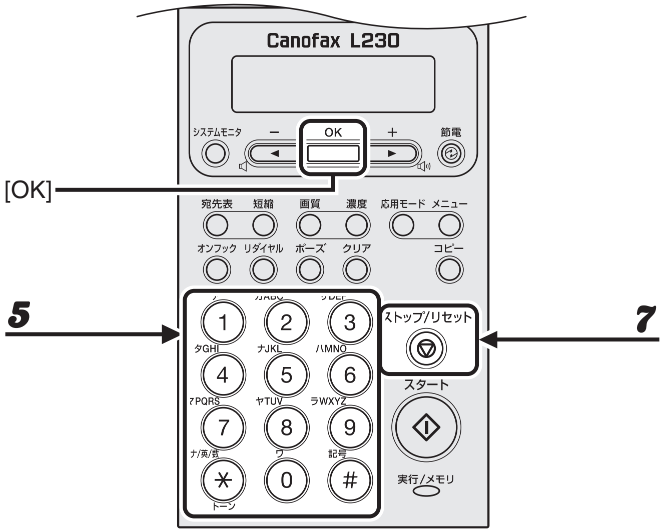
1 **［メニュー］を押します。**

2 **［◄－］または［＋►］を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◄－］または［＋►］を押して＜グループ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **グループダイヤルの登録先を指定し、［OK］を押します。**

未登録のワンタッチダイヤルを登録先として指定します。
［◄－］または［＋►］を押して登録先を選択します。また、ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 15）を押して選択することもできます。



5 **テンキーを使ってグループの名前（スペースを含め最大 20 文字）を入力し、[OK］を押します。**

例）

```
ナマエ                [ア]
キヤノンク゛ループ゜_
```

6 **グループダイヤルに登録する宛先（最大 50 件）をすべて指定し、[OK］を押します。**

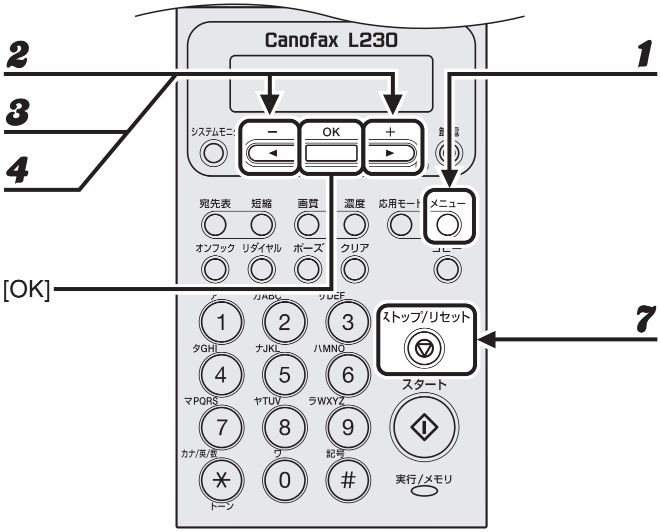
登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを宛先として指定します。
ワンタッチダイヤルを指定する場合：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 15）を押します。
短縮ダイヤルを指定する場合：[短縮］を押したあと、2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。複数指定する場合は、1 つの宛先を指定するごとに［短縮］を押します。

メモ

［◄−］または［+►］を押すと指定した宛先を確認できます。

7 **[ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

● 宛先を追加する



1 **［メニュー］を押します。**

2 **［◄－］または［＋►］を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◄－］または［＋►］を押して＜グループ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄－］または［＋►］を押して宛先を追加するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。**

ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 15）を押して指定することもできます。

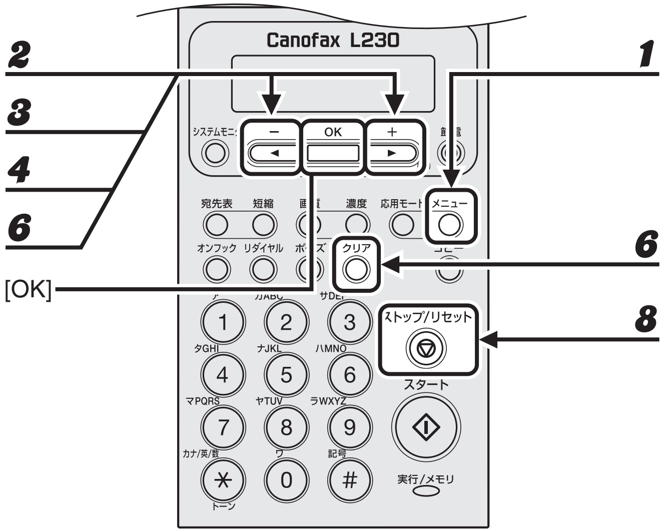
5 **グループ名が表示されたら、［OK］を押します。**

6 **グループダイヤルに追加する宛先を指定し、［OK］を押します。**

指定操作方法については、「グループダイヤルを登録する」（→ P.3-12）を参照してください。

7 **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

● 宛先を消去する



---

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◄ −] または [＋ ►] を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◄ −] または [＋ ►] を押して<グループ　ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◄ −] または [＋ ►] を押して宛先を消去するグループダイヤルを指定し、[OK] を押します。**

ワンタッチダイヤルキー（01 〜 15）を押して指定することもできます。

5 **グループ名が表示されたら、[OK] を押します。**

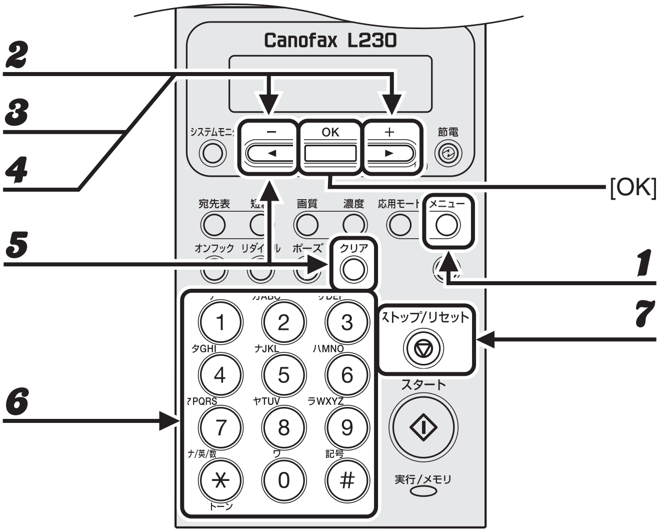
6 **[◄ −] または [＋ ►] を押して消去する宛先を選択し、[クリア] を押します。**

続けて別の宛先を消去する場合は、本手順を繰り返します。

7 **[OK] を押します。**

8 **[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。**

● グループ名を変更する



1 [メニュー] を押します。

2 [◄ −] または [＋ ►] を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、[OK] を押します。

3 [◄ −] または [＋ ►] を押して<グループ　ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。

4 [◄ −] または [＋ ►] を押してグループ名を変更するグループダイヤルを指定し、[OK] を押します。

ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 15）を押して指定することもできます。

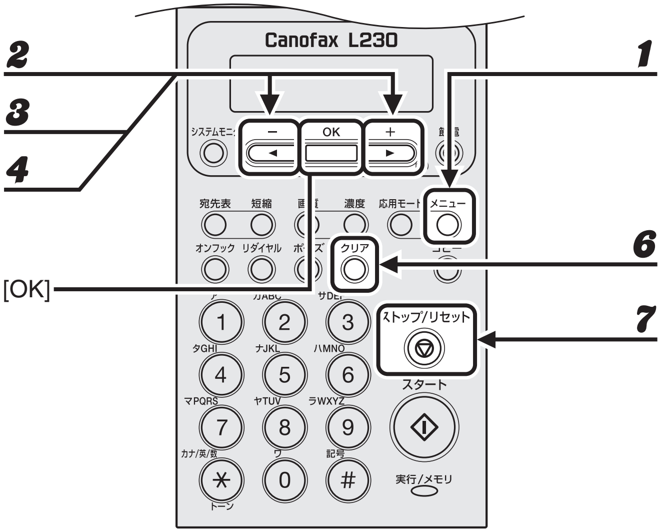
5 [◄ −] を押して消去する文字にカーソルを移動し、[クリア] を押します。

名前全体を消去する場合は、[クリア] を長押しします。

6 テンキーを使って新しい名前を入力し、[OK] を 2 回押します。

7 [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

● グループダイヤルを消去する



---

1 [メニュー] を押します。

2 [◄ −] または [+ ►] を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、[OK] を押します。

3 [◄ −] または [+ ►] を押して<グループ　ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。

4 [◄ −] または [+ ►] を押して宛先を消去するグループダイヤルを指定し、[OK] を押します。

ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 15）を押して指定することもできます。

5 グループ名が表示されたら、[OK] を押します。

6 [クリア] を押して登録済みの宛先を 1 件ずつ消去し、最後の 1 件を消去したら [OK] を押します。

メモ

- [OK] ではなくもう 1 度 [クリア] を押すと、<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>と表示され、ここまでの操作が無効となってしまいます。この場合は手順 2 から操作をやりなおしてください。
- 宛先をすべて消去すると、グループ名は自動的に消去されます。

7 [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

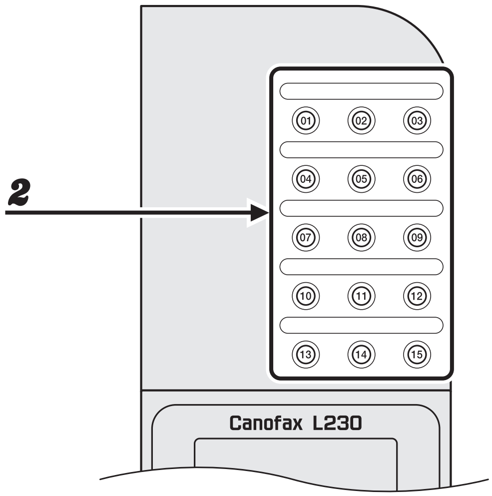
宛先を指定する

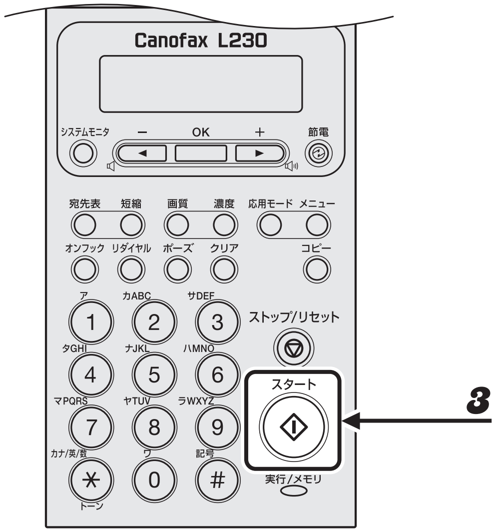
スピードダイヤルを使って原稿を送信します。

ワンタッチダイヤルを使用する

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。（→宛先を登録／編集／削除する：P.3-5）





1　原稿をセットします。

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.3-3）を参照してください。

2　登録先のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 15）を押します。

間違ったキーを押した場合は、［ストップ／リセット］を押したあと、操作をやりなおしてください。

例）

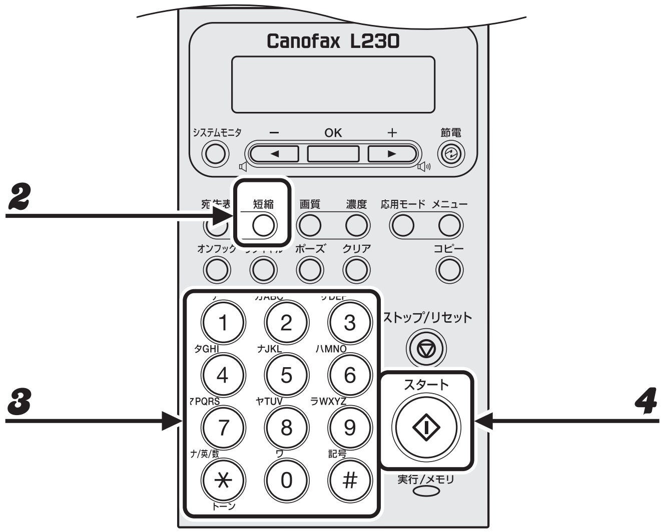
```
☎＝0123XXXXXX
［05］キヤノン
```

3　［スタート］を押します。

短縮ダイヤルを使用する

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。（→宛先を登録／編集／削除する：P.3-5）



---

1 **原稿をセットします。**

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.3-3）を参照してください。

2 **［短縮］を押します。**

3 **テンキーを使って 2 桁の登録先番号（00 ～ 99）を入力します。**

間違ったキーを押した場合は、[ストップ／リセット]を押したあと、手順2から操作をやりなおしてください。

例）

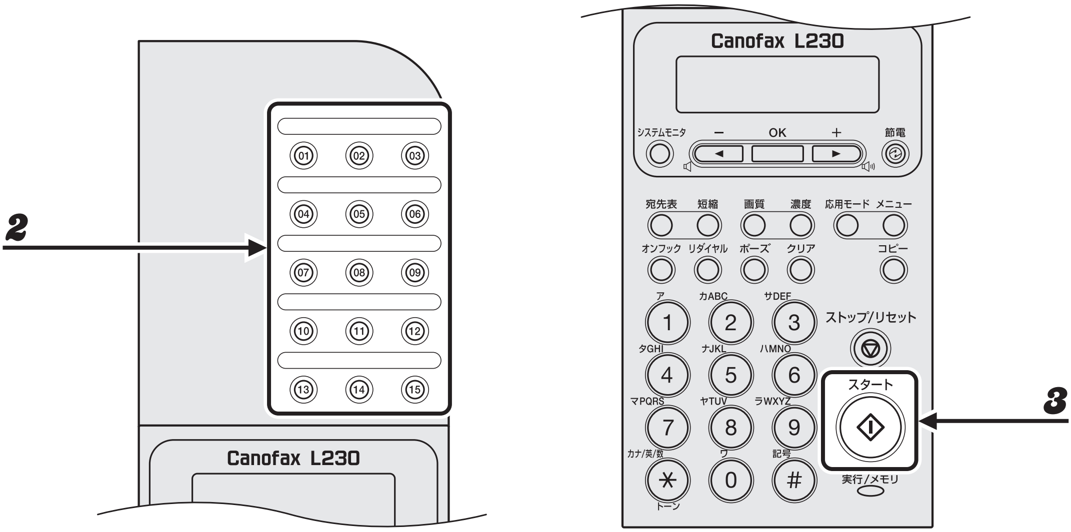
☎= 0 1 2 3 X X X X X X
[＊ 0 1] ｷﾔﾉﾝ

4 **［スタート］を押します。**

グループダイヤルを使用する

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。（→宛先を登録／編集／削除する：P.3-5）



1 **原稿をセットします。**

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.3-3）を参照してください。

2 **グループダイヤルとして登録したワンタッチダイヤルキー（01 ～ 15）を押します。**

間違ったキーを押した場合は、[ストップ／リセット] を押したあと、操作をやりなおしてください。

3 **[スタート] を押します。**

送信する

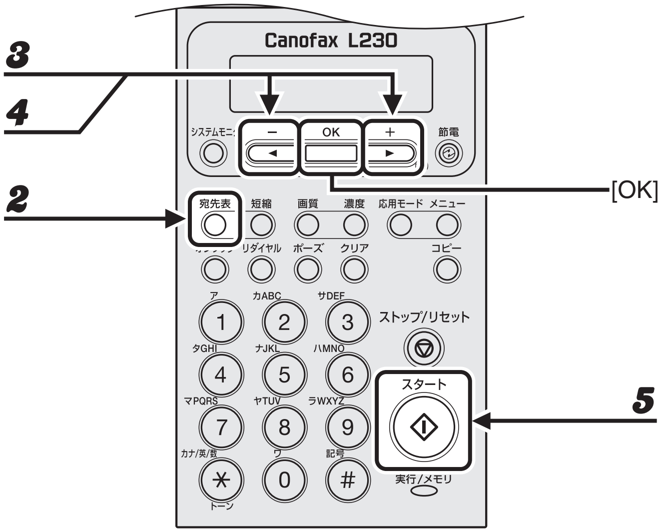
宛先表を使用する

宛先表を使うと、登録済みの宛先を宛先表から検索できます。どのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに宛先を登録したか忘れてしまった場合に便利です。
登録したすべての宛先を通して探す（<アテサキリスト　ヒョウジ>）こともできますし、宛先を名前で検索する（<アテサキ　ケンサク>）こともできます。

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。（→宛先を登録／編集／削除する：P.3-5）

● 宛先リストを表示する



1　**原稿をセットします。**

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.3-3）を参照してください。

2　**［宛先表］を押します。**

宛先が登録されていない場合は、<ミトウロクデス>と表示されます。

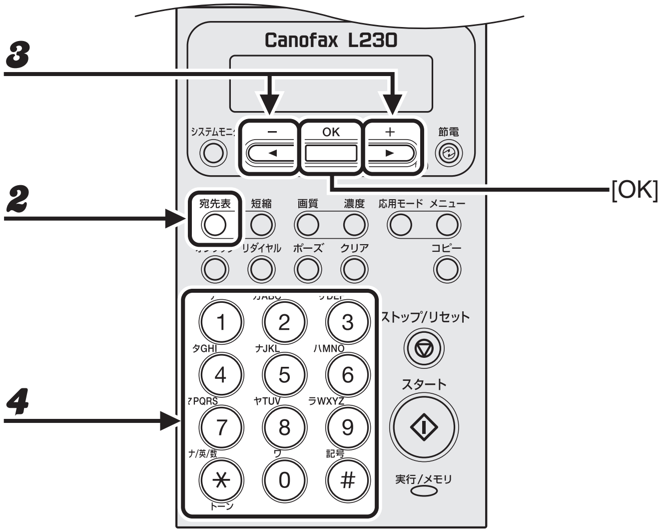
3　**［◄ー］または［＋►］を押して<アテサキリスト　ヒョウジ>を選択し、［OK］を押します。**

4　**［◄ー］または［＋►］を押して宛先を選択します。**

［◄ー］または［＋►］を押すと宛先表に登録されている宛先の名前が表示されます。ただし、名前が未登録の場合は、ファクス番号が表示されます。

5　**［スタート］を押します。**

● 相手先の名前を検索する



1 **原稿をセットします。**

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.3-3）を参照してください。

2 **［宛先表］を押します。**

宛先が登録されていない場合は、＜ミトウロクデス＞と表示されます。

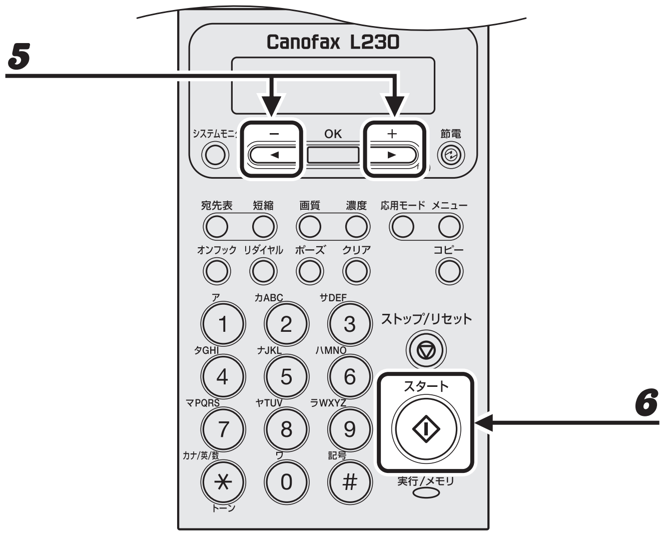
3 **［◄ —］または［＋ ►］を押して＜アテサキ　ケンサク＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **テンキーを使って、検索する名前の最初の文字（最大 10 文字）を入力し、［OK］を押します。**

例）

ケンサク	［ア］
キヤノン	

- しばらくすると検索結果が表示されます。このとき、入力した文字の後に＜（0）＞と検索結果が表示された場合は、入力した文字に合致する名前の宛先が未登録になります。再度検索をやりなおしてください。また、＜（1）＞と検索結果が表示された場合は、手順 6 に進んでください。
- 入力モードを切り替える場合は、［＊］を押してください。ディスプレイ右上に入力モードを示す＜ア＞（カタカナ入力）、＜ A ＞（アルファベット入力）または＜ 1 ＞（数字入力）が表示されます。
- 検索をしなおす場合は、入力済みの文字を［クリア］を長押しして消去し、新たに検索する文字を入力してください。



5 ［◄ −］または［+ ►］を押して宛先を選択します。

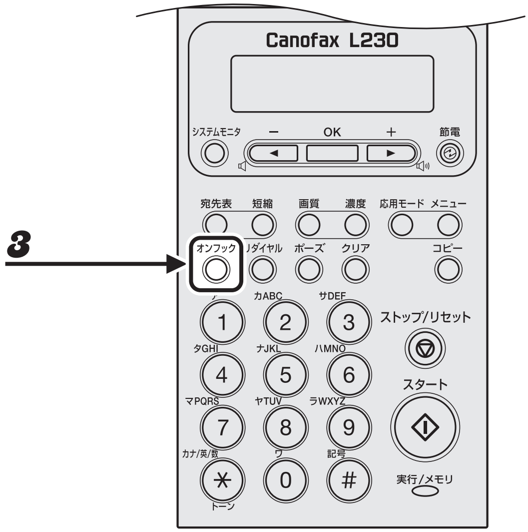
6 ［スタート］を押します。

手動で送信する

原稿を送信する前に相手と話をしたい場合、または相手先のファクス機が自動受信できない場合は、手動で送信してください。

メモ

手動送信では、グループダイヤルは使用できません。



1 外付け電話機またはオプションのハンドセットを本製品に接続します。

外付け電話機またはオプションのハンドセットの接続方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」を参照してください。

メモ

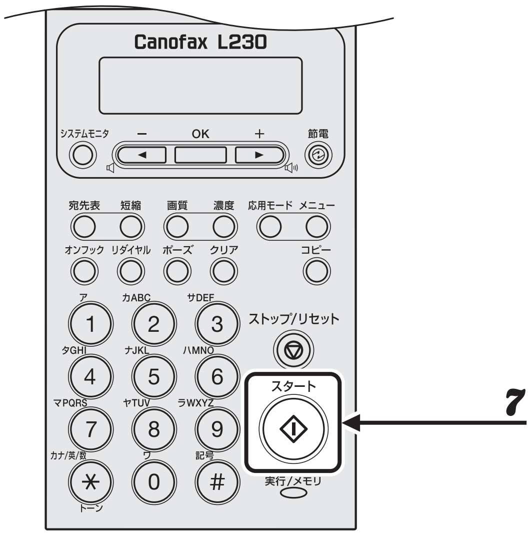
本製品に接続する電話機が、黒電話 *（600 型、601 型等）を含む、金属ベル内蔵電話機の場合は、呼び出し音が小さかったり、呼び出し音が鳴らない可能性があります。

* 黒電話とは、以前に一般家庭で普及していた、旧式の黒い電話機の総称です。

2 原稿をセットします。

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.3-3）を参照してください。

3 ［オンフック］を押すか、外付け電話機の受話器またはオプションのハンドセットを取ります。



4 **相手先のファクス／電話番号をダイヤルします。**

メモ

ファクス／電話番号を入力する前に、発信音を確認してください。発信音を確認する前に番号を入力すると、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

5 **受話器で相手と話します。**

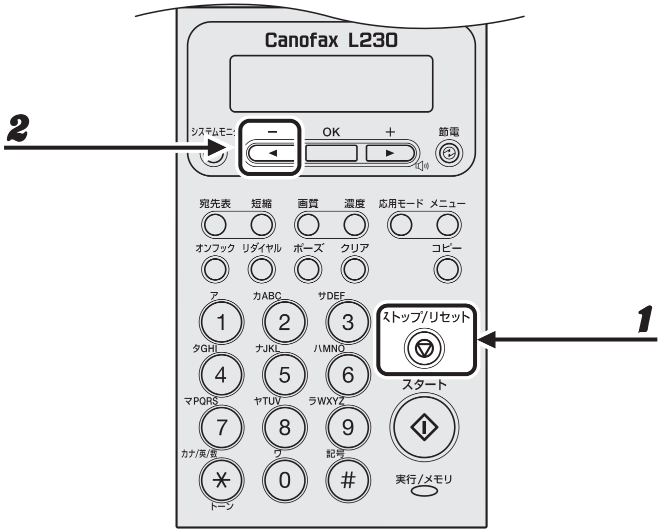
手順３で［オンフック］を押した場合は、相手先の声が聞こえたら受話器を取ります。
相手先の声ではなく「ピー」という音が聞こえた場合は、手順７に進んでください。

6 **ファクスの受信準備をするよう相手先に依頼します。**

7 **「ピー」という音が聞こえたら［スタート］を押し、受話器を置きます。**

送信ジョブを中止する

原稿の読み込み操作や送信操作を中止します。



---

1 **［ストップ／リセット］を押します。**

2 **＜ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示されたら、［◄ −］を押して＜ハイ＞を選択します。**

ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？ 〈　ハイ　　　　　　　　イイエ　〉

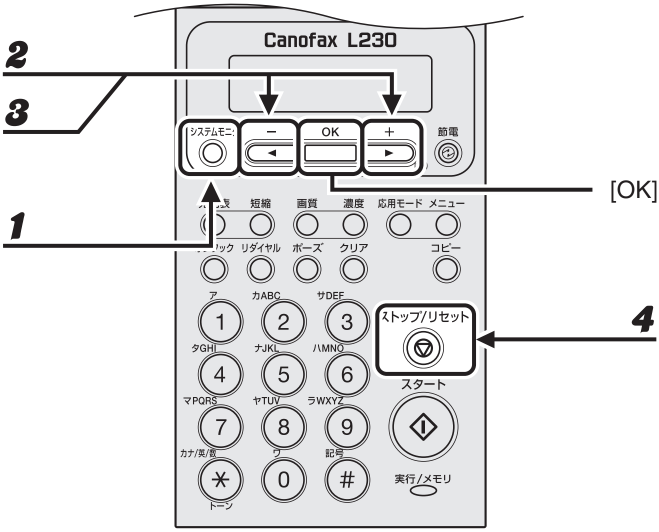
メモ

ADF に原稿が残っている場合は、取り除いてください。

メモリ内の送信ジョブを確認／操作する

［システムモニタ］を押して、送信履歴を確認したり送信中または送信待機中のジョブを確認／削除できます。

送信履歴を確認する



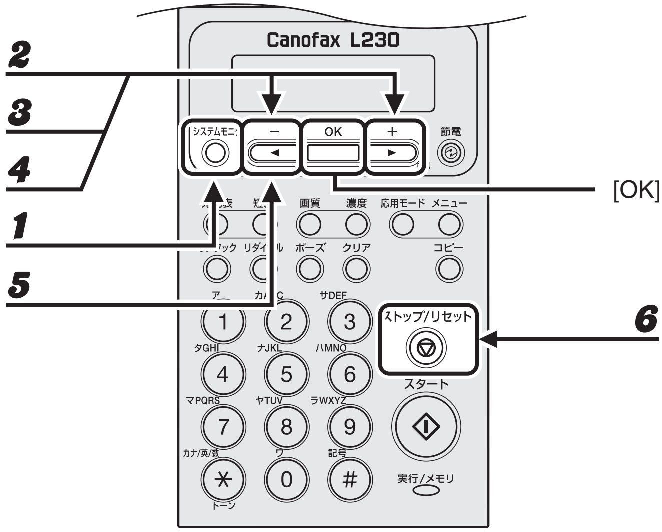
1 ［システムモニタ］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜ツウシンリレキ＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄－］または［＋►］を押して送信履歴を表示します。

4 ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

送信中または送信待機中のジョブを確認／削除する



1　［システムモニタ］を押します。

2　［◄ −］または［＋ ►］を押して＜ツウシン　ジョウキョウ＞を選択し、［OK］を押します。

3　［◄ −］または［＋ ►］を押してメモリ内にある送信ジョブを確認します。

ジョブを削除する場合は、手順 4 に進んでください。削除しない場合は、［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

4　［◄ −］または［＋ ►］を押して削除するジョブを選択し、［OK］を押します。

メモ

＜ドウホウ＞の場合は、ジョブに設定されたすべての宛先への送信がキャンセルされます。

5　［◄ −］を押して＜ハイ＞を選択します。

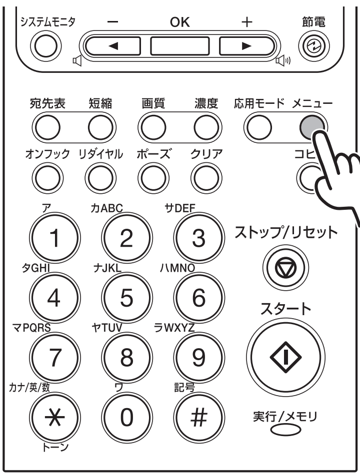
削除操作を中止する場合は、［＋ ►］を押して＜イイエ＞を選択します。

6　［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

4 受信する

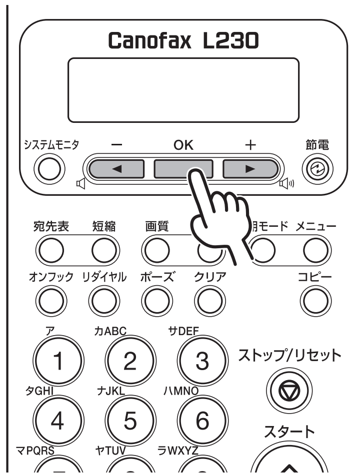
以下の手順に従って、ファクスの受信を設定します。
工場出荷時の初期値は＜ジドウ＞に設定されています。
応用機能については、操作ガイド（総合編）「第 3 章 送信と受信」「受信応用機能」を参照してください。

1 設定メニューを選択する



［メニュー］を押します。

2 受信モードを選択する



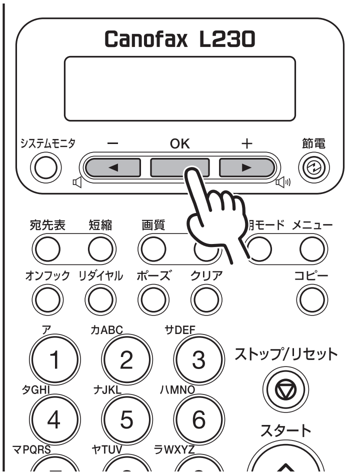
［◄−］または［＋►］を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

［◄−］または［＋►］を押して＜ジュシンモード＞を選択し、［OK］を押します。

メモ

ファクスで受信した原稿などのデータが、メモリに保持されているときに電源コードを抜くと、データは消去されますのでご注意ください。

3 受信モードを設定する



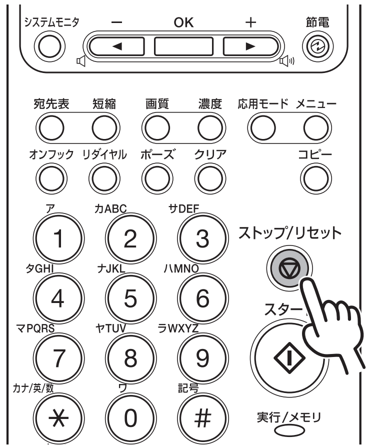
[◄ー] または [＋►] を押して受信モードを選択し、[OK] を押します。

<ジドウ>：すべての着信をファクスとして受信します。
<ルス TEL >：ファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は留守番電話機が用件を録音します。
< FAX/TEL >：外付け電話機またはオプションのハンドセットが接続されている場合は、ファクスと電話を自動的に切り替えます。
<シュドウ>：着信に応答しません。手動でファクスを受信してください。
詳細については、操作ガイド（総合編）「第 3 章 送信と受信」「受信応用機能」を参照してください。

メモ

- ＜FAX/TEL ＞または＜シュドウ＞の場合は、外付け電話機またはオプションのハンドセットを本製品に接続してください。
- ＜ルス TEL ＞の場合は、留守番電話機を本製品に接続してください。

4 設定メニューを終了する



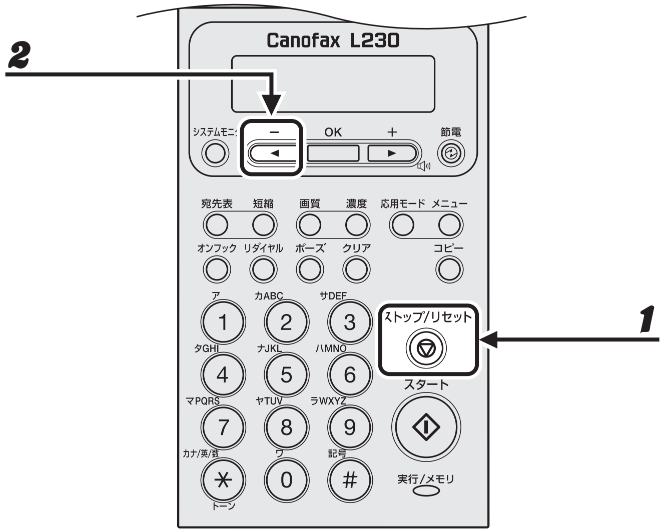
[ストップ／リセット]を押して待受画面に戻ります。

こんなときは ...

- **受信を中止するとき：**
  [ストップ／リセット］を押します。
  ＜ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示されたら、[◄ー］を押して＜ハイ＞を選択します。
- **＜トナーショウ（ケイゾクプリントカ）／トナージュンビ＞と表示されたとき：**
  トナーが残り少なくなっています。トナーを均一にならしてください。また、トナーがなくなった場合にすぐに交換できるように、新しいトナーカートリッジを用意してください。
  詳細については、
  「トナーカートリッジの交換時期」（→ P.7-6）を参照してください。

受信ジョブを中止する

原稿の受信操作を中止します。



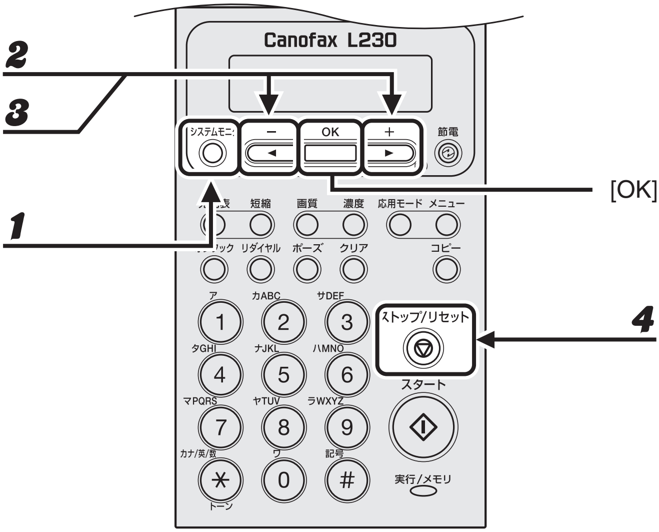
1　［ストップ／リセット］を押します。

2　＜ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示されたら、［◄ —］を押して＜ハイ＞を選択します。

```
ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ?
 〈 ハイ          イイエ 〉
```

メモリ内の受信ジョブを確認する

［システムモニタ］を押して、受信履歴を確認できます。



---

1 **［システムモニタ］を押します。**

2 **［◄－］または［＋►］を押して<ツウシンリレキ>を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◄－］または［＋►］を押して受信履歴を表示します。**

4 **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

問題発生時にジョブをメモリで受信する（代行受信）

トナー切れや用紙切れなどでプリントができない場合、本製品は受信した文書をいったんメモリに蓄積します。この機能を代行受信と呼びます。

メモ

- 本体のメモリは、最大で 256 ジョブまたは約 346 ページ分* のデータを蓄積できます。
  - * 相手側のファクスが Canofax L230 で、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合のページ数です。メモリに蓄積できる最大のページ数は、送信側のファクスによって異なります。
- 蓄積されたページはプリントされるとメモリから削除されます。
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。相手に残りのページを再送信してくれるよう連絡してください。

1 実行／メモリランプが点灯し、メッセージが交互に表示されます。

メモリ代行受信した場合は、ディスプレイに＜ジュシンデータプリントデキマセン／エラーカイジョゴ　プリント＞と交互に以下のメッセージが表示されます。

例）

```
ﾖｳｼｦ ﾎｷｭｳｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｶｾｯﾄ       :B5
```

原因：コピーやプリント時、受信文書のプリント時に用紙給紙部に用紙がセットされていない。
処置：用紙をセットしたあとに［OK］を押してください。
詳細を確認する場合は「ディスプレイの表示」（→ P.8-6）を参照してください。

```
ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
ﾄﾅｰｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ
```

原因：本体内で紙づまりが起きた。
処置：つまった用紙を取り除いて（→用紙がつまったときには：P.8-1）、用紙給紙部に用紙をセットしなおしてください。

例）

```
ﾀﾀﾞｼｲﾖｳｼｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｶｾｯﾄ       :B5
```

原因：用紙給紙部にある用紙のサイズが＜ヨウシ　セッテイ＞メニューで指定した用紙と違う。
処置：用紙をセットしなおすか＜ヨウシ　セッテイ＞メニューで指定した用紙サイズを変更してください。
（→＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞と表示された場合：P.8-13）

```
ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ
ﾄﾅｰｶﾊﾞｰ
```

原因：トナーカバーが完全に閉じていない。
処置：トナーカバーが完全に閉じているか確認してください。

ヨウシヲ　セット　シナオシテ　クダサイ トナーヲ　セット　シナオシテ　クダサイ

原因：用紙が正しくセットされていないか、トナーカートリッジが正しくセットされていない。
処置：セットされている用紙をいったん取り除き、もう１度セットしなおしてください。
トナーカートリッジを正しくセットしてください。
詳細を確認する場合は「ディスプレイの表示」（→ P.8-6）を参照してください。

トナーガ　ナクナリマシタ トナーヲ　コウカンシテクダサイ

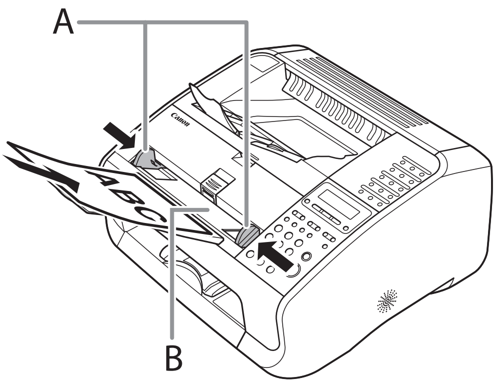
原因：トナーがなくなった。
処置：トナーを均一にならしてください。（→トナーを均一にならす：P.7-6）メッセージが引き続き非表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。
詳細を確認する場合は「ディスプレイの表示」（→ P.8-6）を参照してください。

2　**エラーを解消すると、受信文書がプリントされます。**

5 コピーする

以下の手順に従ってコピーします。

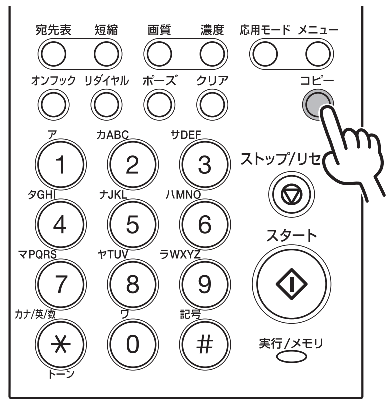
1 原稿をセットする



原稿ガイド（A）を原稿の幅に合わせ、読み取る面を上にして、ADF（B）に原稿をセットします。

使用できる原稿については「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。

2 コピーモードを選択する

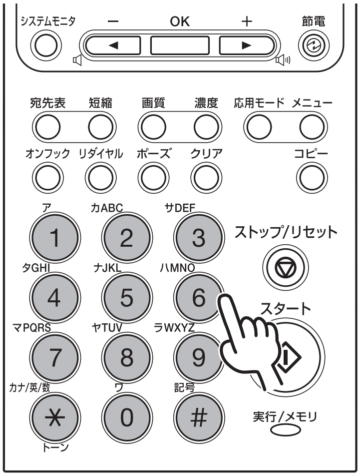


［コピー］を押します。

こんなときは ...

- **画質、濃度、倍率を調整するとき：**
  「コピーの設定をする」（→ P.5-3）を参照してください。

3 コピー部数を入力する



テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。

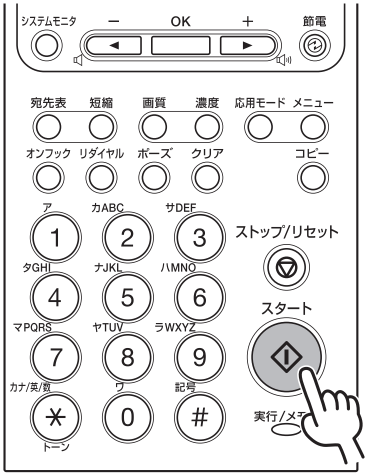
例）

```
100%        A4
◐ ■ ◑ モジ/シャシン    1
```

こんなときは ...

- **間違った番号を入力したとき：**
  ［クリア］を押して、正しい部数を入力しなおします。

4 コピーを開始する



［スタート］を押します。

こんなときは ...

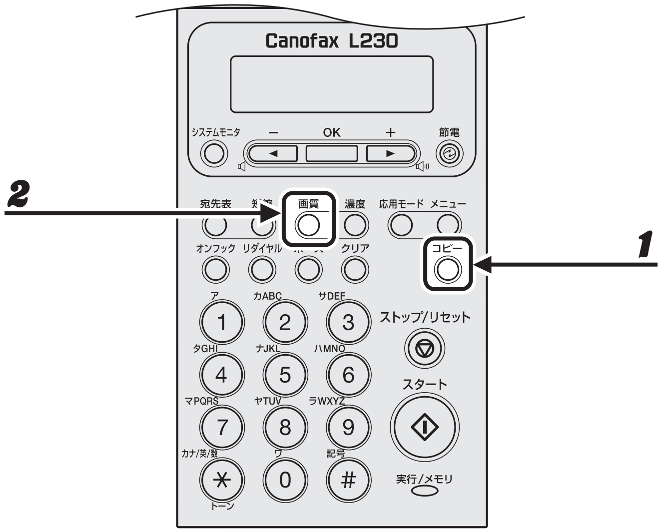
- **コピーを中止するとき：**
  ［ストップ／リセット］を押します。
  <コピーヲ　チュウシ　シマスカ？>と表示されたら、［◄－］を押して<ハイ>を選択します。

コピーの設定をする

［スタート］を押してコピーを開始する前に、読み込む原稿の種類に合わせて設定を調整することができます。1 分間何も操作をしなかった場合、または［ストップ／リセット］を押した場合は、調整した設定は初期値に戻ります。

画質を調節する

工場出荷時の初期値は＜モジ／シャシン＞に設定されています。



1　**［コピー］を押します。**

2　**［画質］を繰り返し押して、原稿の種類を選択します。**

＜モジ／シャシン＞：文字と写真のある原稿に適しています。
＜モジ＞：文字原稿に適しています。
＜シャシン＞：細かい文字または写真のある原稿に適しています。

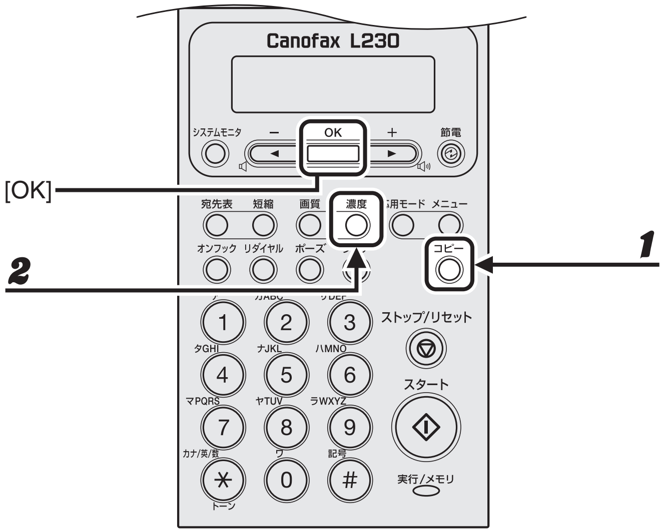
メモ

- 濃度が＜ジドウ＞に設定されている場合、［画質］を押すと濃度は自動的に手動設定に切り替わります。
- ［ストップ／リセット］を押すと設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、［メニュー］→＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜ガシツ＞で設定登録を行ってください。（→メニューの設定内容：P.9-3）

濃度を調節する

自動または手動で、原稿に最適な濃度に調整できます。
工場出荷時の初期値は<シュドウ>（5）に設定されています。

● 自動調節



1 ［コピー］を押します。

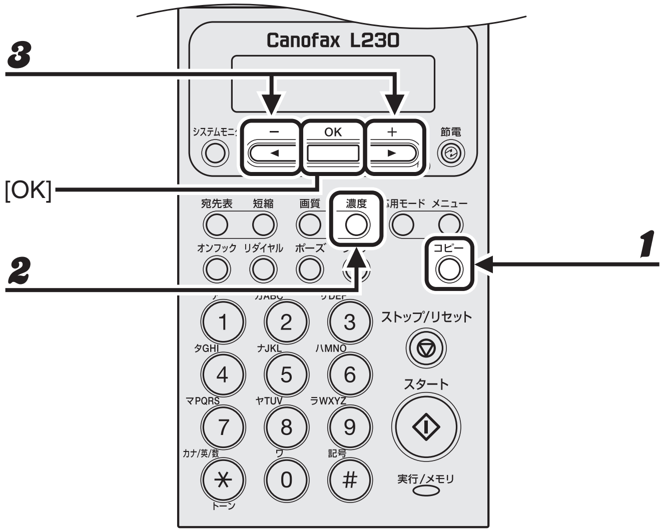
2 ［濃度］を繰り返し押して<ジドウ>を選択し、［OK］を押します。

メモ

画質は自動的に<モジ>に設定されます。

コピーする

● **手動調節**



---

1 **[コピー] を押します。**

2 **[濃度] を繰り返し押して、手動モードを選択します。**

3 **[◄−] または [+►] を押して濃度を選択し、[OK] を押します。**

例)

```
ノウト゛
−ウスク ◖▯▯▯▯■▯▯▯▯◗ コク+
```

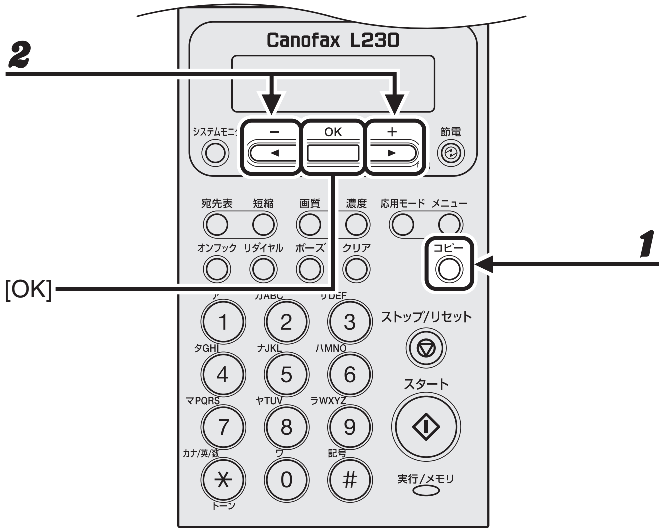
[◄−]：濃い原稿を薄くコピーします。
[+►]：薄い原稿を濃くコピーします。

メモ

[ストップ／リセット] を押すと設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、[メニュー] →<コピー　シヨウ　セッテイ>→<ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ>→<ヨミトリ　ノウド>→<シュドウ>で設定登録を行ってください。(→メニューの設定内容：P.9-3)

倍率を設定する

1%刻みで任意のコピー倍率を指定し、画像を拡大または縮小できます。コピー倍率は、50% ～ 200%の範囲で指定できます。
工場出荷時の初期値は＜ 100% ＞に設定されています。



1 **[コピー] を押します。**

2 **[◄ ─] または [+ ►] を押して倍率を指定し、[OK] を押します。**

例）

```
120%          A4
◐ ■ ◑  モジ゛/シャシン    1
```

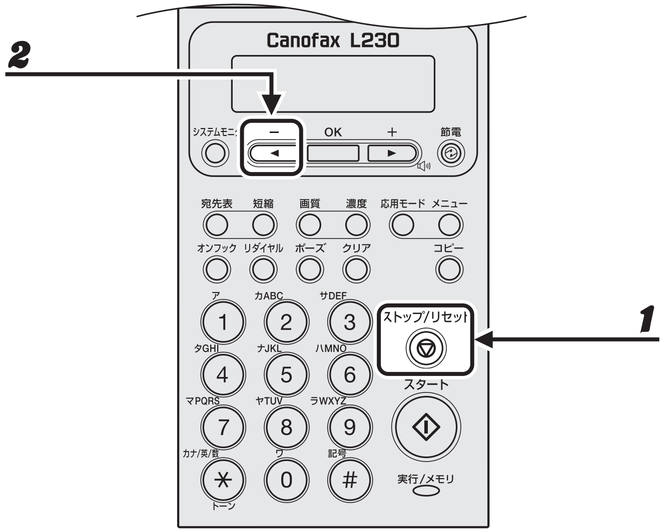
[◄ ─]：コピー倍率を小さくします。
[+ ►]：コピー倍率を大きくします。

メモ

[ストップ／リセット] を押すと設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、[メニュー] → ＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜バイリツ＞で設定登録を行ってください。(→メニューの設定内容：P.9-3)

コピージョブの中止

以下の手順で、原稿の読み込み操作や印刷操作を中止します。



1　［ストップ／リセット］を押します。

2　＜コピーヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示されたら、［◄ −］を押して＜ハイ＞を選択します。

```
コピーヲ　チュウシ　シマスカ？
 〈 ハイ　　　　　　イイエ 〉
```

ジョブが中止され、コピー部数がリセットされます。

6 コンピュータからプリントする

以下の手順で、コンピュータからプリントします。
プリンタドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」を参照してください。プリンタドライバの設定については、オンラインヘルプを参照してください。

メモ

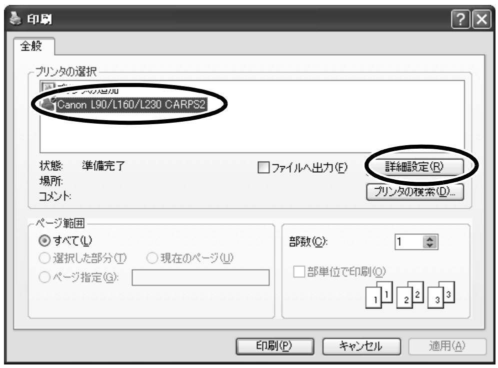
OS やアプリケーションによっては、手順や画面に表示される項目が異なる場合があります。

1 印刷コマンドを選択する



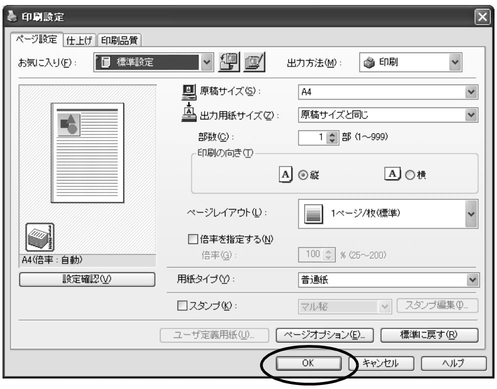
アプリケーションで開いている文書から、[ファイル] → [印刷] をクリックします。

2 使用するプリンタを選択する



プリンタアイコン (Canon L90/L160/L230 CARPS2) を選択したあと、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックして、画面を開きます。

3 詳細を設定する



設定が終了したら、[OK] をクリックします。

4 プリントを開始する



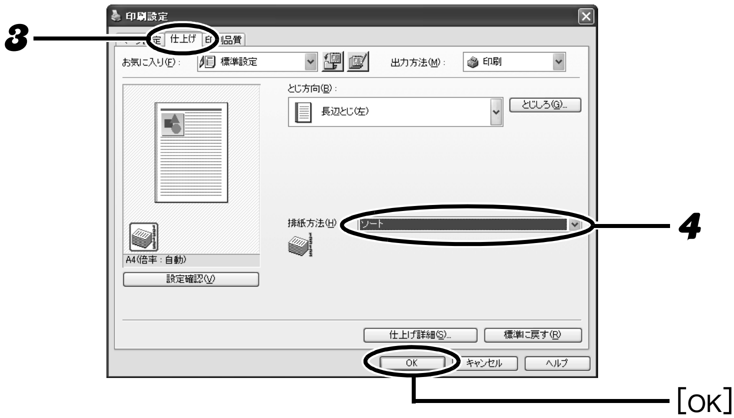
[印刷] または [OK] をクリックします。

こんなときは ...

- **プリントを中止するとき：**
  「プリント状況を確認／削除する」(→ P.6-4) を参照してください。

ソートプリント

プリントをページ順にそろえることができます。例えば、プリントした 3 ページの原稿の束を 1、2、3、1、2、3 とページ順に排紙します。



---

1 アプリケーションで開いている文書から、[ファイル] → [印刷] をクリックします。

2 プリンタアイコン（Canon L90/L160/L230 CARPS2）を選択したあと、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックして、画面を開きます。

3 [仕上げ] タブをクリックします。

4 [排紙方法] の [ソート] を選択し、[OK] をクリックします。

5 [印刷] または [OK] をクリックします。

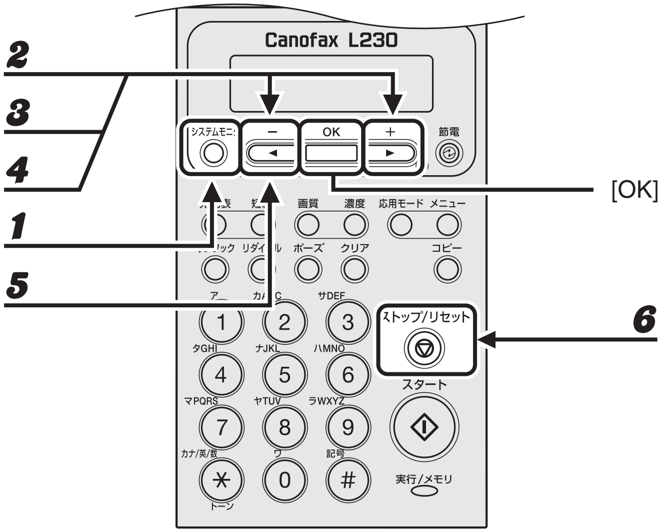
ジョブの確認と削除

［システムモニタ］を押して、処理中のプリントジョブの状態を確認／削除できます。

メモ

実行／メモリランプが点灯していることを確認してください。実行／メモリランプが消灯している場合は、メモリに保存されているプリントジョブはすべて消えています。

プリント状況を確認／削除する



1 **［システムモニタ］を押します。**

2 **［◄ー］または［＋►］を押して<プリント　ジョウキョウ>を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◄ー］または［＋►］を押してメモリ内にあるプリント中のジョブを確認します。**

ジョブを削除する場合は、手順 4 に進んでください。削除しない場合は、［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

4 **［◄ー］または［＋►］を押して削除するジョブを選択し、［OK］を押します。**

5 **［◄ー］を押して<ハイ>を選択します。**

削除操作を中止する場合は、［＋►］を押して<イイエ>を選択します。

6 **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

7 日常のメンテナンス

日常のお手入れ

本製品のお手入れをする前に、以下を確認してください。

- **メモリにジョブが蓄積されていないことを確認してから、電源コードを抜いてください。**
- **本製品に傷が付かないよう、柔らかい布をお使いください。**
- **ティッシュペーパー、紙タオルなどは使わないでください。内部の部品に付着したり、静電気発生の原因になったりすることがあります。**

注意

シンナーやベンジン、アセトンなどの溶剤、およびその他の化学クリーナーは絶対に使わないでください。本体内部の部品を損傷する恐れがあります。

メモ

電源コードを抜くと、メモリに蓄積されているジョブは消去されます。
メモリ内にあるジョブを確認するには、以下を参照してください。

- 送信中または送信待機中のジョブを確認／削除する：P.3-28
- プリント状況を確認／削除する：P.6-4

本体のお手入れ

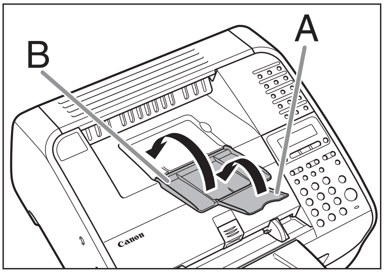
1. 電源コードを抜きます。
2. 水または薄めた中性洗剤を含ませてかたく絞った布で、本体の表面を拭きます。
3. 乾いてから電源コードを接続します。

内部のお手入れ

プリントエリアを定期的に清掃し、トナーの粉や紙ぼこりがたまらないようにしてください。

1 **電源コードを抜きます。**

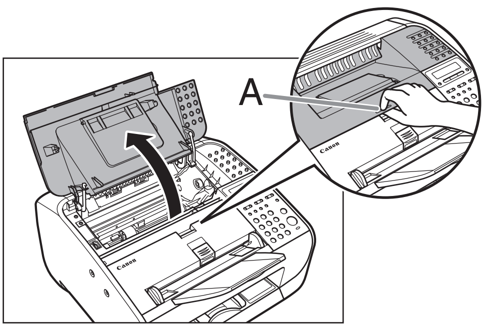
2 **排紙補助トレイ（A）、排紙トレイ（B）の順に折りたたみます。**



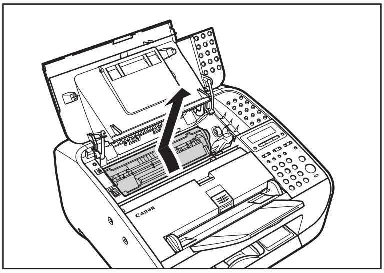
注意

排紙補助トレイを必ず先に折りたたんでください。

3 **くぼみにあるつまみ（A）を持って、トナーカバーを開けます。**

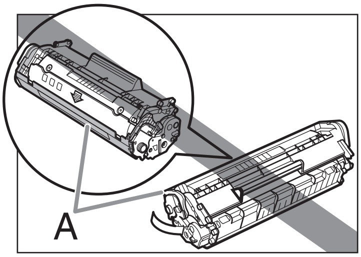


4 **トナーカートリッジを取り出します。**



注意

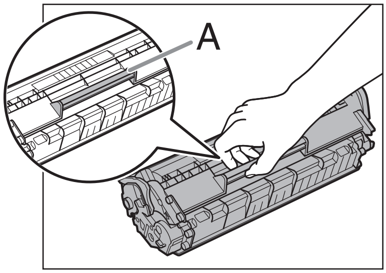
- 「注意高温」と表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりすると、印字の質が低下することがあります。



日常のメンテナンス

メモ

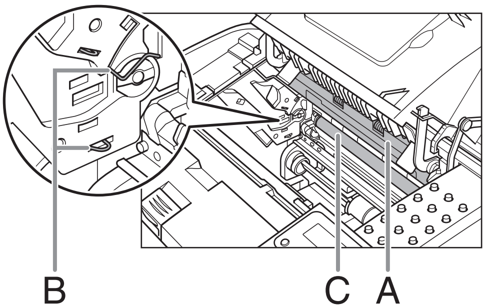
トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手（A）を持ってください。



5 **清潔で柔らかい、乾いた、糸くずの出ない布で、内部からトナーの粉や紙ぼこりを取り除きます。**

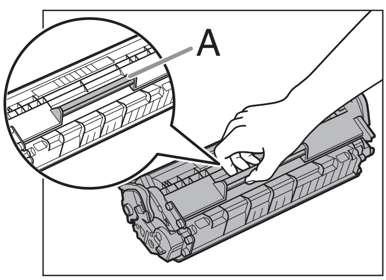
注意

- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、ピン（B）や搬送ローラ（C）に触らないでください。

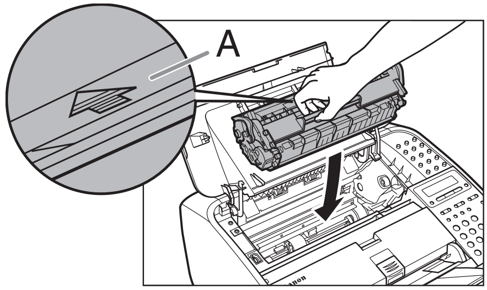


- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うとトナーが定着し、落ちなくなります。

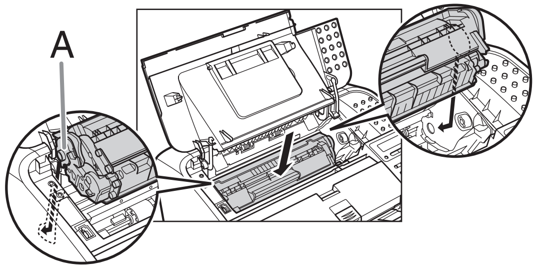
6 **トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。**



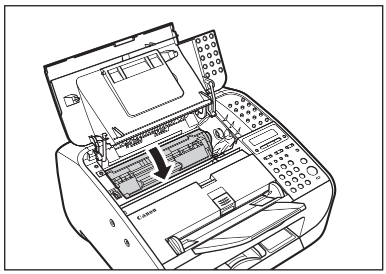
7 **矢印（A）を本体に向けます。**



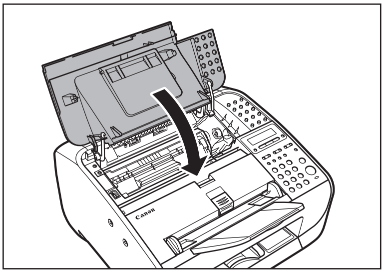
8 **トナーカートリッジの左端の突起（A）を本体内部の溝に沿って収めます。**



9 **トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。**



10 トナーカバーを閉じます。



注意

指をはさまないよう注意してください。

11 電源コードを差し込みます。

定着器のお手入れ

プリントされた用紙に黒いスジが現れる場合は、定着器が汚れている可能性があります。このような場合は、以下の手順で定着器をクリーニングしてください。トナーカートリッジを交換したときにもクリーニングしてください。A4 の白紙を用紙給紙部にセットし、クリーニングを開始します。

メモ

クリーニングには約 180 秒かかります。

1 [メニュー] を押します。

2 [◄ –] または [+ ►] を押して <チョウセイ／クリーニング>を選択し、[OK] を押します。

3 A4の白紙を1枚､用紙給紙部にセットします。

4 [◄ –] または [+ ►] を押して <テイチャクキノ　クリーニング>を選択し、[OK] を押します。

メモ

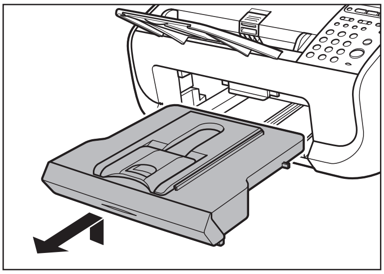
- クリーニング用の用紙は普通紙を使用してください。
- クリーニングに使用した用紙は、クリーニング終了後、廃棄してください。

読み取りエリアのお手入れ

コピーや送信ファクスの品質を保つため、読み取りエリアを清掃してください。
ADF を使ってコピーすると、黒いスジが出る場合があります。これは、ADF の読み取り部分に付着したのり、インク、修正液などが原因です。柔らかく清潔な布で、読み取り部分を拭いてください。

1 電源コードを抜きます。

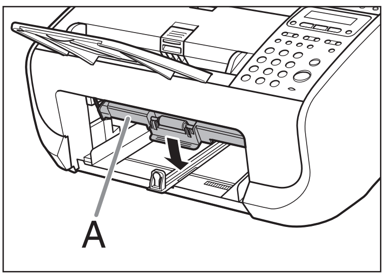
2 用紙カバーを持ち上げて引き出します。



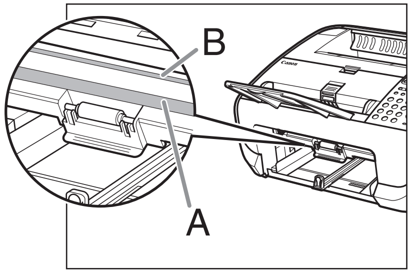
メモ

引き出す際は用紙カバーの後端が用紙後端ガイドに引っかからないようにしてください。

3 原稿読み取り部（A）を下げます。



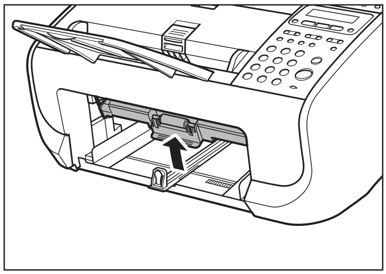
4 清潔で柔らかい、水を含ませた、糸くずの出ない布で、読み取りガラス（A）と白い部分（B）を拭きます。



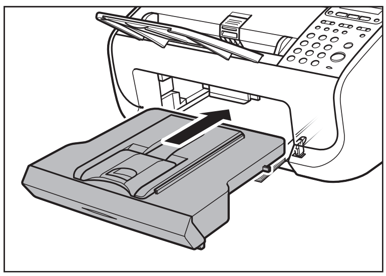
メモ

水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

5 布で拭いた部分が乾いてから、原稿読み取り部を上げます。



6 用紙カバーを取り付けます。



メモ

取り付ける際は用紙カバーの後端が原稿読み取り部に引っかからないようにしてください。

7 電源コードを差し込みます。

トナーカートリッジの交換時期

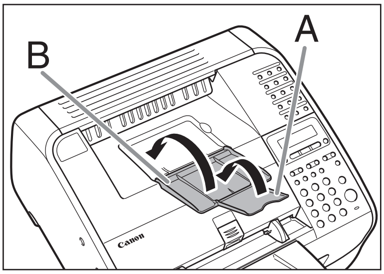
トナーが残り少なくなってくると、ディスプレイに<トナーショウ（ケイゾクプリントカ）／トナージュンビ>と表示されます。この場合は、トナーを均一にならしてください。トナーがなくなった場合にすぐに交換できるように、新しいトナーカートリッジを用意しておくことをおすすめします。
<トナーガ　ナクナリマシタ／トナーヲ　コウカンシテクダサイ>と表示された場合には、トナーを均一にならしてください。メッセージが引き続き表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。コピー中およびプリント中にこのメッセージが表示されると、実行中のコピーまたはプリントは継続して印刷されます。ファクス受信中にこのメッセージが表示されると、受信したファクスはプリントされずにメモリに保存されます。
交換用のトナーカートリッジが手元にはなく、取り急ぎトナーカートリッジを交換しないで、受信したデータやレポートをプリントしたい場合は、<ファクスセッテイ>の<プリント　セッテイ>で<インジケイゾク>を< ON >に設定してください。工場出荷時の初期値は< OFF >に設定されています。トナー交換後は<インジケイゾク>を<OFF>に戻しておくことをおすすめします。
（→メニューの設定内容：P.9-3）

注意

- <インジケイゾク>を< ON >に設定した場合、途中で印字が薄くなったり、かすれて読み取りができなかったりすることがあります。しかしメモリ内の受信データはプリントと同時に消えるため、再度、プリントすることができません。
- 「注意高温」と表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

トナーを均一にならす

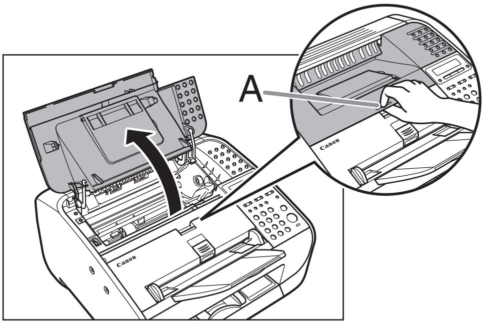
1 排紙補助トレイ（A）、排紙トレイ（B）の順に折りたたみます。



注意

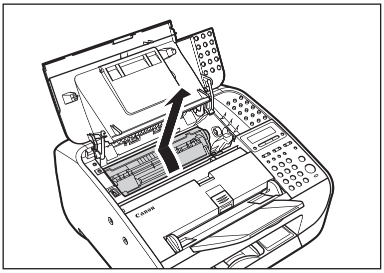
排紙補助トレイを必ず先に折りたたんでください。

2 くぼみにあるつまみ（A）を持って、トナーカバーを開けます。



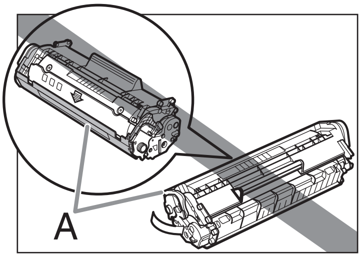
日常のメンテナンス

3 トナーカートリッジを取り出します。



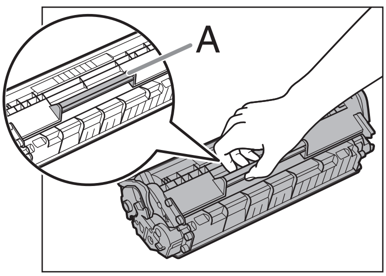
注意

- 「注意高温」と表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。

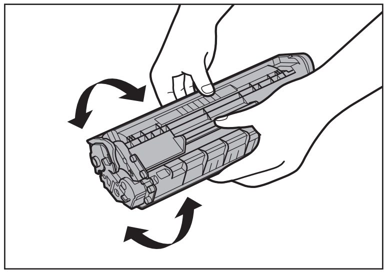


メモ

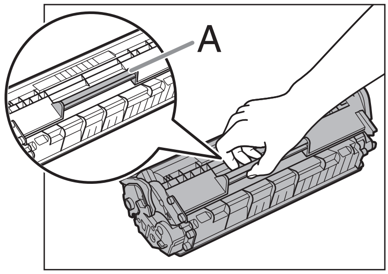
トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手（A）を持ってください。



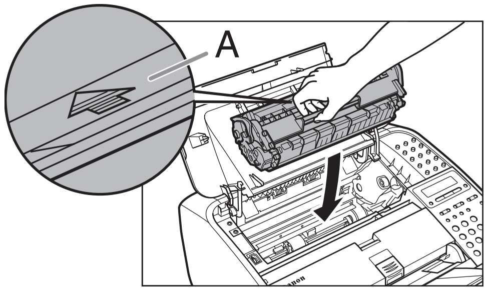
4 トナーカートリッジをゆっくりと数回振り、トナーを均一にならします。



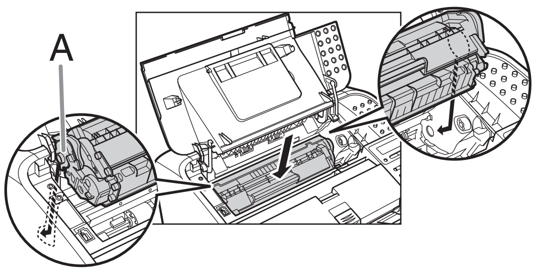
5 トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



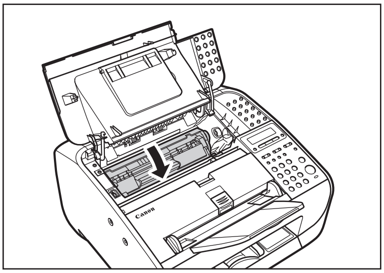
6 矢印（A）を本体に向けます。



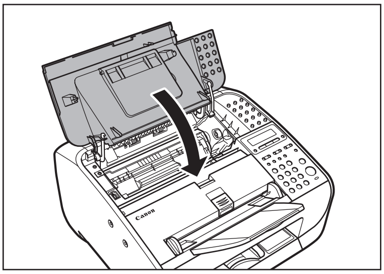
7 トナーカートリッジの左端の突起（A）を本体内部の溝に沿って収めます。



8 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



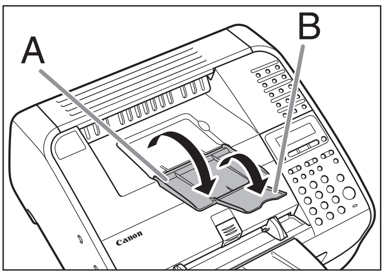
9 トナーカバーを閉じます。



注意

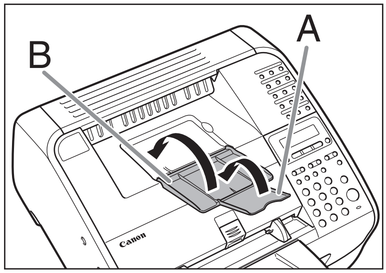
指をはさまないよう注意してください。

10 排紙トレイ（A)、排紙補助トレイ（B）の順にトレイを開きます。



トナーカートリッジを交換する

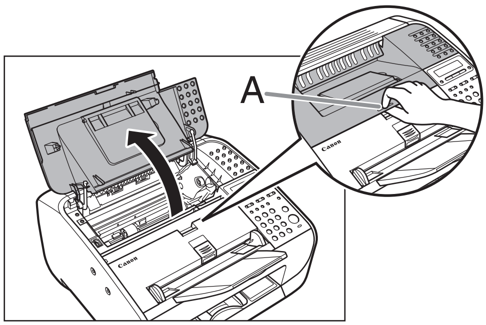
1 排紙補助トレイ（A)、排紙トレイ（B）の順に折りたたみます。



注意

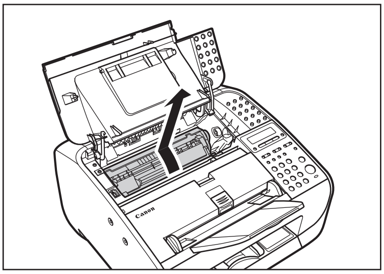
排紙補助トレイを必ず先に折りたたんでください。

2 くぼみにあるつまみ（A）を持って、トナーカバーを開けます。



日常のメンテナンス

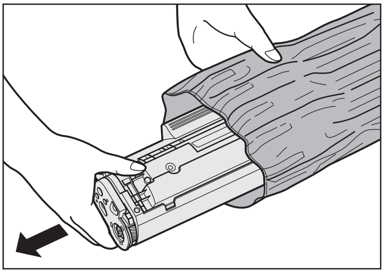
3 トナーカートリッジを取り出します。



⚠ 注意

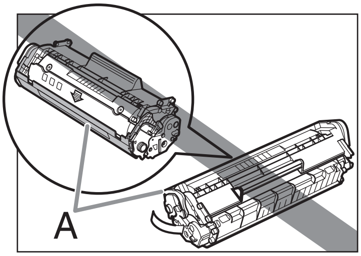
「注意高温」と表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

4 保護袋から新しいトナーカートリッジを取り出します。



⚠ 注意

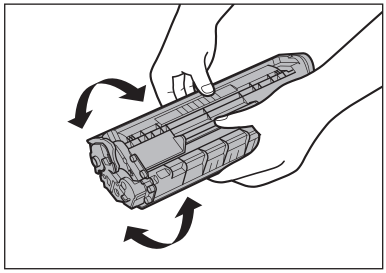
トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりすると、印字の質が低下することがあります。



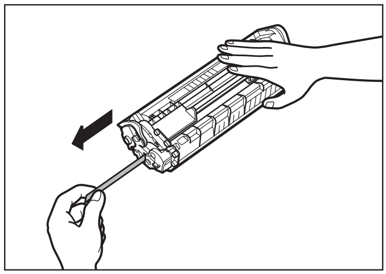
メモ

保護袋は保存しておいてください。後で本製品からトナーカートリッジを取り外す際に必要となります。

5 トナーカートリッジをゆっくりと数回振り、トナーを均一にならします。

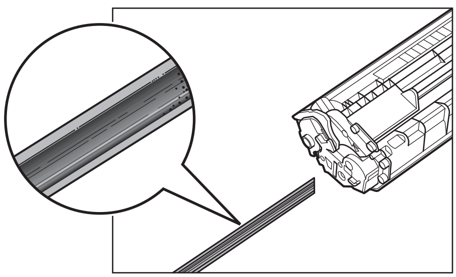


6 片手でトナーカートリッジを押さえながら、シーリングテープを完全に引き抜きます。



⚠ 注意

- 引き抜いたシーリングテープには、トナーが付着していることがあります。手や衣服を汚さないように注意してください。

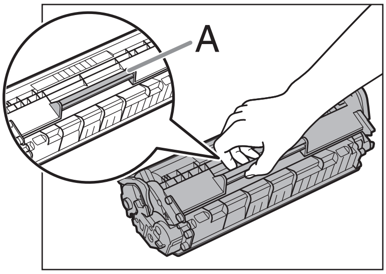


- 手や衣服にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うと、トナーが定着し、落ちなくなります。

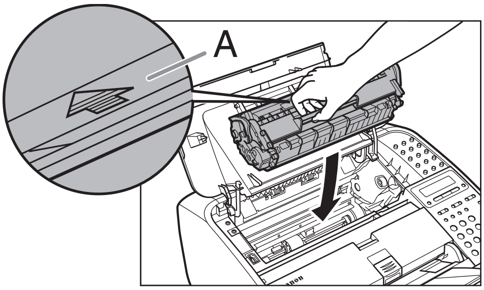
メモ

シーリングテープはまっすぐに引き抜いてください。

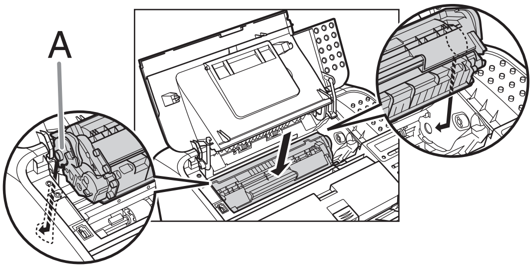
7 トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



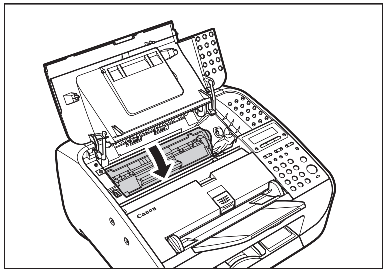
8 矢印（A）を本体に向けます。



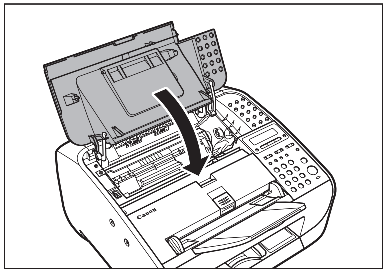
9 トナーカートリッジの左端の突起（A）を本体内部の溝に沿って収めます。



10 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



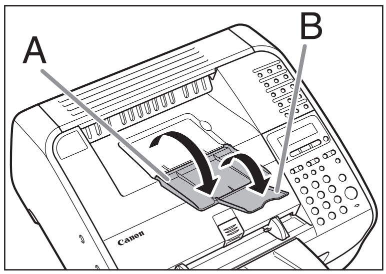
11 トナーカバーを閉じます。



注意

指をはさまないよう注意してください。

12 排紙トレイ（A）、排紙補助トレイ（B）の順にトレイを開きます。

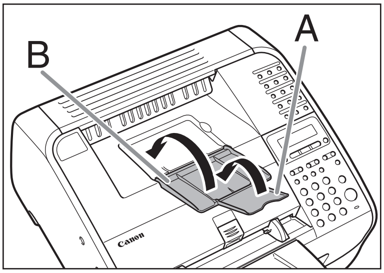


本製品を移動するとき

本製品を長距離移動する場合などは、振動による損傷を防ぐため、以下の手順に従ってください。

1 **電源コード、およびすべてのケーブルを本製品の背面から外します。**

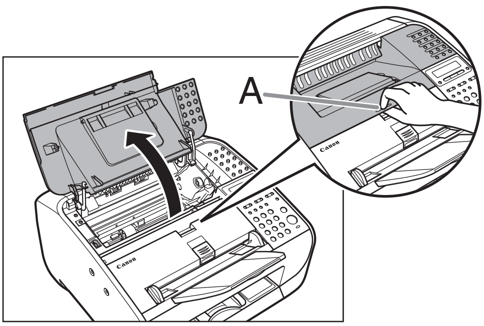
2 **排紙補助トレイ（A）、排紙トレイ（B）の順に折りたたみます。**



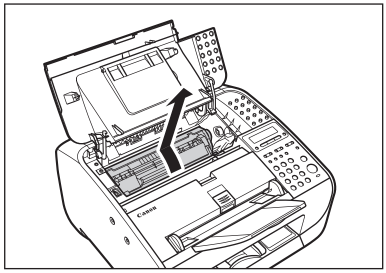
注意

排紙補助トレイを必ず先に折りたたんでください。

3 **くぼみにあるつまみ（A）を持って、トナーカバーを開けます。**

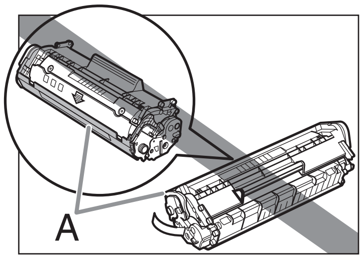


4 **トナーカートリッジを取り出します。**



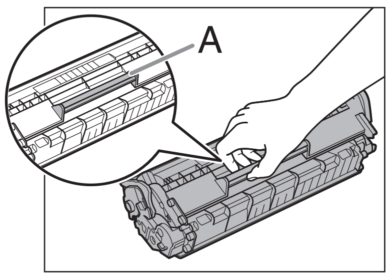
注意

- 「注意高温」と表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。

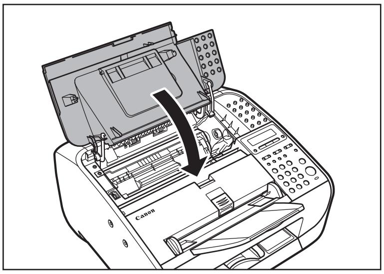


メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手（A）を持ってください。



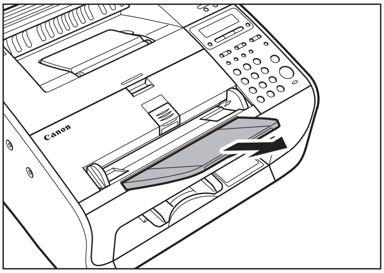
5 **トナーカバーを閉じます。**



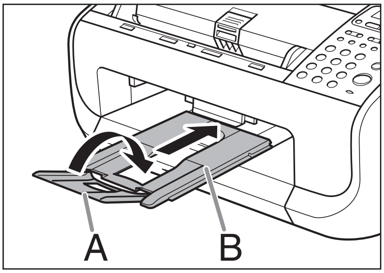
注意

指をはさまないよう注意してください。

6 **原稿給紙トレイを取り外します。**



7 **原稿排紙補助トレイ（A）を折りたたみ、原稿排紙トレイ（B）を本体内部に押し込みます。**



注意

原稿排紙トレイを押し込む場合は、必ず先に原稿排紙補助トレイを折りたたんでください。

8 困ったときには

用紙がつまったときには

ここでは、紙づまりが起きた場合の対処について説明します。エラーメッセージが表示された場合については、「ディスプレイの表示」（→ P.8-6）を参照してください。それ以外のトラブルについては、操作ガイド（総合編）「第 8 章 困ったときには」を参照してください。

ディスプレイに<ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ>または<ヨウシガ　ツマリマシタ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ>と表示された場合は、ADF か本体内部で紙づまりが起きています。つまった原稿や用紙を取り除いてください。用紙給紙部にも用紙がつまっていたら、それも取り除いてください。

紙づまりが繰り返し起こる場合は、以下を確認してください。

・ 本製品に用紙をセットする前に、平らな場所でそろえてください。
・ お使いの用紙が本製品に適しているか、確認してください。
（→使用可能な用紙：P.2-4）
・ つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。

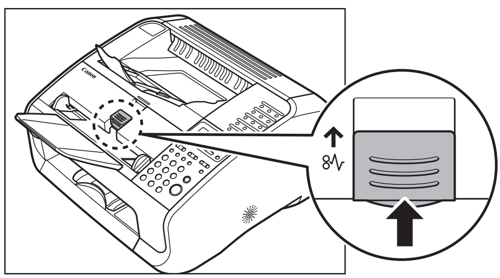
注意

・ つまった原稿や用紙を取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切らないよう注意してください。
・ つまった用紙を取り除くときや、本体内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属製品が本体内部の部品と接触しないようにしてください。やけどや感電の恐れがあります。
・ 用紙が破れた場合は、切れ端がつまらないように、すべて取り除いてください。
・ 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水で洗うとトナーが定着し、落ちなくなります。
・ つまった原稿や用紙を本体から無理に取り除かないでください。問題が解決できない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ADF につまった原稿を取り除く

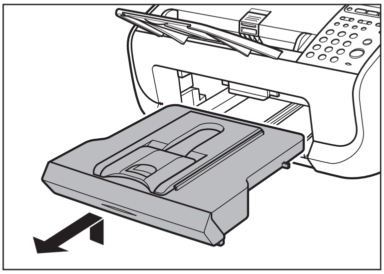
ディスプレイに<ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ>と表示された場合は、ADF からつまった原稿を取り除いてください。

1　原稿リリースレバーを上にあげます。



原稿がセットされている場合は、すべて取り除いてください。

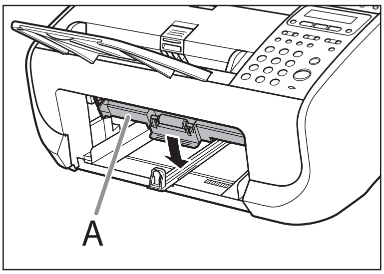
2 **用紙カバーを持ち上げて引き出します。**



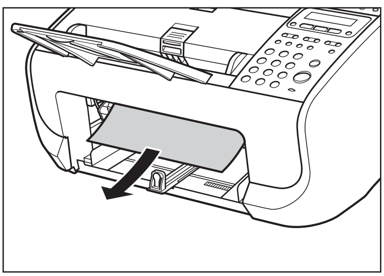
メモ

引き出す際は用紙カバーの後端が用紙後端ガイドに引っかからないようにしてください。

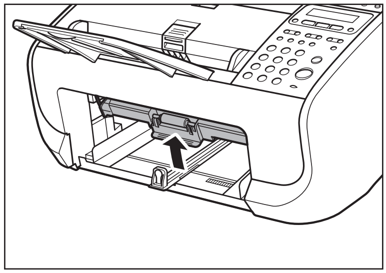
3 **原稿読み取り部（A）を下げます。**



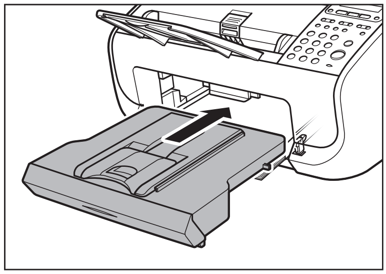
4 **つまった原稿の両端を持って、静かに取り除きます。**



5 **原稿読み取り部を上げます。**



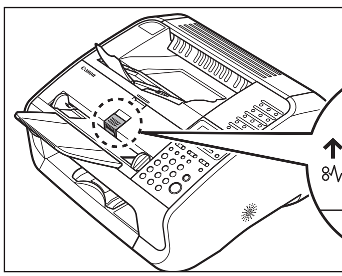
6 **用紙カバーを取り付けます。**



メモ

取り付ける際は用紙カバーの後端が原稿読み取り部に引っかからないようにしてください。

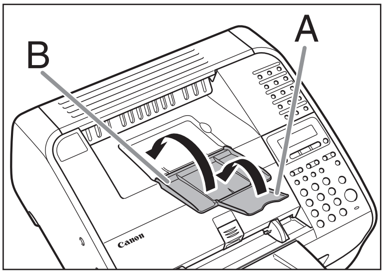
7 **原稿リリースレバーを下げます。**



本体内部につまった用紙を取り除く

ディスプレイに<ヨウシガ　ツマリマシタ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ>と表示された場合は、本体内部からつまった用紙を取り除いてください。用紙給紙部にも用紙がつまっていたら、それも取り除きます。

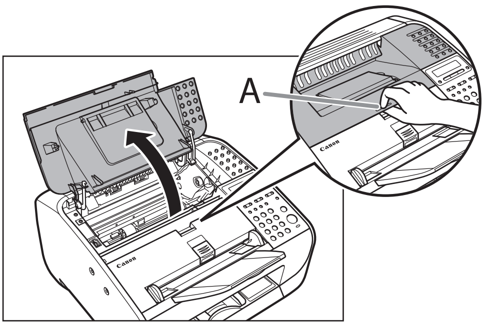
1 **排紙補助トレイ（A）、排紙トレイ（B）の順に折りたたみます。**



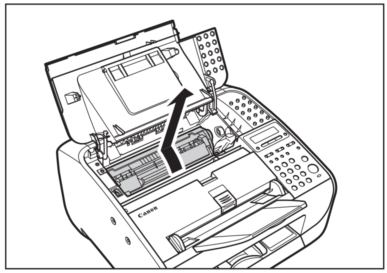
注意

排紙補助トレイを必ず先に折りたたんでください。

2 **くぼみにあるつまみ（A）を持って、トナーカバーを開けます。**

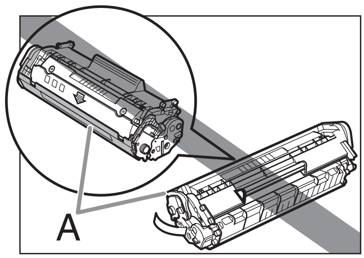


3 **トナーカートリッジを取り出します。**



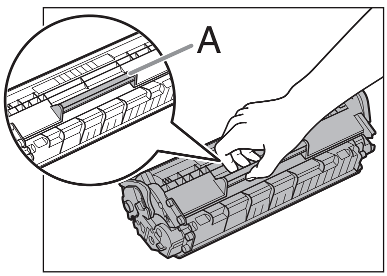
注意

- 「注意高温」と表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



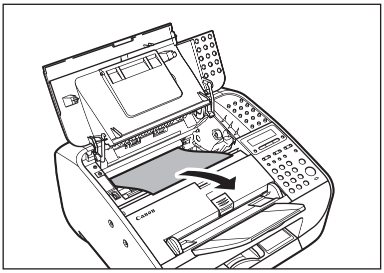
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手（A）を持ってください。



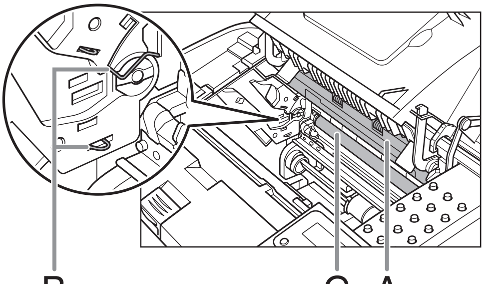
困ったときには

4 つまった用紙の両端を持って、静かに引き出します。

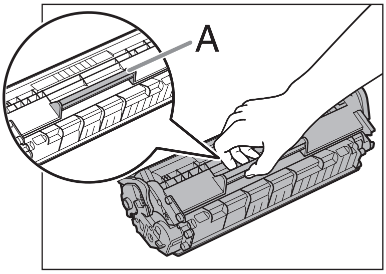


注意

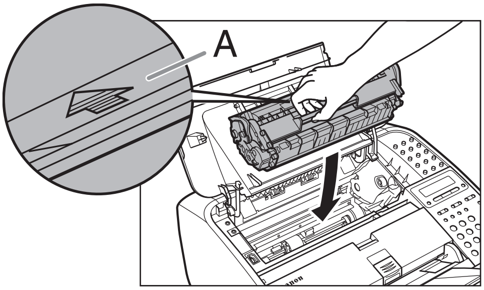
- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、ピン（B）や搬送ローラ（C）に触らないでください。



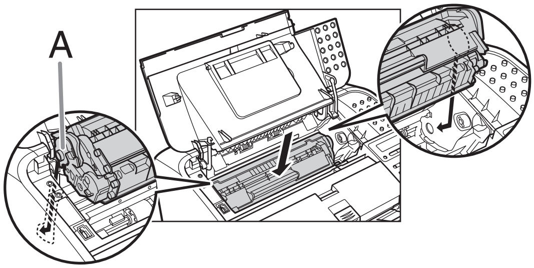
5 トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



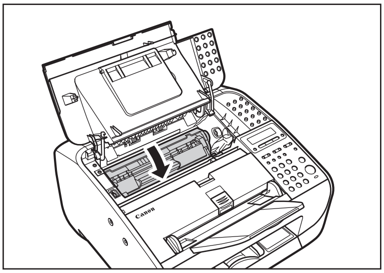
6 矢印（A）を本体に向けます。



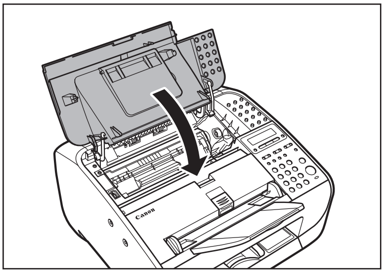
7 トナーカートリッジの左端の突起（A）を溝に沿って収めます。



8 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



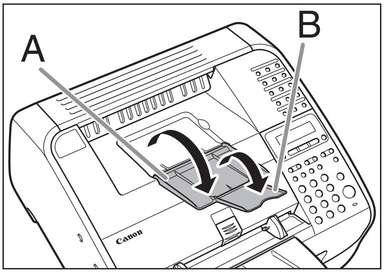
9 トナーカバーを閉じます。



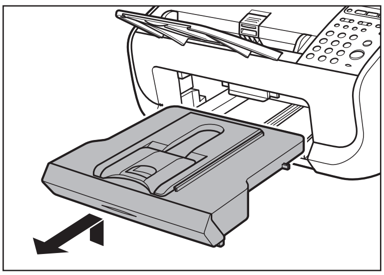
注意

指をはさまないよう注意してください。

10 排紙トレイ（A）、排紙補助トレイ（B）の順にトレイを開きます。



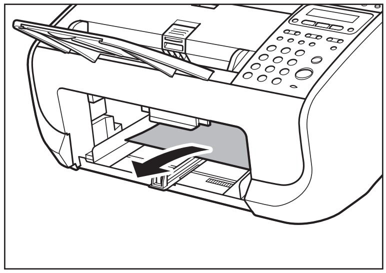
11 用紙カバーを持ち上げて引き出します。



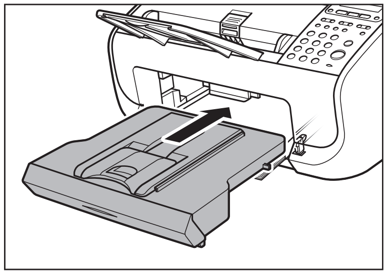
メモ

引き出す際は用紙カバーの後端が用紙後端ガイドに引っかからないようにしてください。

12 つまった原稿の両端を持って、静かに取り除きます。



13 用紙カバーを取り付けます。



メモ

取り付ける際は用紙カバーの後端が原稿読み取り部に引っかからないようにしてください。

ディスプレイの表示

ディスプレイに表示されるエラーメッセージについては、以下の表を参照してください。

メッセージ	原因	処置
アテサキヲ　カクニンシテクダサイ	2 回目に入力したファクス番号が 1 回目に入力した番号と異なる。<システム　カンリ　セッテイ>の<ソウシンキノウノセイゲン>で<ファクス NO. カクニンニュウリョク>が< ON >に設定されているときに表示される。	ファクス番号が正しいかどうか、確認してください。1 回目に入力した番号と同じ番号を入力してください。
ウォーミング　アップチュウ ...	電源コードを差し込んだとき、またはプリント操作の準備ができていない場合に表示される。	メッセージが消えるまでお待ちください。
ガゾウガ　ウシナワレマシタ	メモリにデータが保持されていたときに、電源コードを抜いてしまった。	2 秒後に自動的にメモリクリアレポートをプリントし、エラーは解除されます。ファクスで受信した原稿が、メモリに保持されているときに電源コードを抜くと、データは消去されますのでご注意ください。
カバーヲ　シメテクダサイ トナーカバー	トナーカバーが完全に閉じていない。	トナーカバーが完全に閉じているか確認してください。
ゲンコウヨミトリブ　エラー	・原稿読み取り部が汚れている。 ・原稿読み取り部が下がったままの状態になっている。	・原稿読み取り部を清掃してください。（→読み取りエリアのお手入れ：P.7-5） ・原稿読み取り部を所定の位置に戻してください。
ゲンコウヲ　セットシテクダサイ	原稿を読み込ませるため［スタート］を押したが ADF に原稿がセットされていない。	原稿をセットしてください。
ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ	・ADF内で原稿がつまっている。 ・ADFを使って読み込まれた原稿の長さが 400mm を超えている。	・つまった原稿を ADF から取り除いてください。（→用紙がつまったときには：P.8-1） ・原稿の長さを400mm以下にして、もう一度操作をやりなおしてみてください。

メッセージ	原因	処置
コノキノウハ　シヨウデキマセン	[リダイヤル] を使ってのリダイヤルはできない。 ＜システム　カンリ　セッテイ＞の＜ソウシンキノウノ　セイゲン＞で＜リダイヤルノ　セイゲン＞が＜ ON ＞に設定されているときに表示される。	＜リダイヤルノ　セイゲン＞を＜ OFF ＞に設定するか、手動でダイヤルしてください。
コレイジョウ　トウロク　デキマセン	・入力した同報送信またはポーリング受信の相手先が最大件数（131）に達した。 ・登録したグループダイヤルの相手先が最大件数（50）に達した。 ・ポーリング送信時にメモリに蓄積したジョブが最大件数（30）に達した。	・数回に分けて送信または受信してください。 ・別のワンタッチダイヤルキーに登録してください。 ・メモリ内の文書が送信されるまで待つか不要な文書を削除してください。
システム　エラー EXXX	本体に何らかのエラーが発生している。＜ XXX ＞はエラー番号を示す。	電源コードを抜き、5 秒ほど待ち、再度電源コードを差し込みます。これで問題が解消しない場合は、電源コードを抜いて、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ジュシンデータプリントデキマセン エラーカイジョゴ　プリント	何らかのエラーが発生したため、受信データをメモリに一時的に保存した。 このエラーメッセージは以下のエラーメッセージと交互に表示される。 ・＜カバーヲ　シメテクダサイ／トナーカバー＞ ・＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞ ・＜トナーガ　ナクナリマシタ／トナーヲ　コウカンシテクダサイ＞ ・＜ヨウシヲ　セット　シナオシテ　クダサイ／トナーヲ　セット　シナオシテクダサイ＞ ・＜ヨウシガ　ツマリマシタ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ＞ ・＜ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ＞	このエラーメッセージは他のエラーメッセージと交互に表示されます。エラーが解消された後、受信データはプリントされます。対処方法については、一緒に表示されるメッセージの対処方法を参照してください。
ジュワキヲ　オイテクダサイ	外付け電話機の受話器またはオプションのハンドセットが外れている。	受話器を置いてください。

メッセージ	原因	処置
ステニ　トウロクサレテイマス	・ グループダイヤル登録中に、すでに登録済みのワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを登録しようとした。 ・ 同報送信入力中に、すでに入力済みのワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを入力しようとした。	使用する前にワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルに登録されている情報を確認してください。
タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ	用紙給紙部にある用紙のサイズが＜ヨウシ　セッテイ＞メニューで指定した用紙と違う。	用紙をセットしなおすか＜ヨウシ　セッテイ＞メニューで指定した用紙サイズを変更してください。(→＜タダシイヨウシヲ セットシテクダサイ＞と表示された場合：P.8-13)
トナーガ　ナクナリマシタ **トナーヲ　コウカンシテクダサイ**	トナーが空になりました。	トナーを均一にならしてください。(→トナーを均一にならす：P.7-6) メッセージが引き続き表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーショウ（ケイゾクプリントカ） **トナージュンビ**	トナーが残り少なくなっている。	トナーを均一にならしてください。(→トナーを均一にならす：P.7-6) トナーがなくなった場合にすぐに交換できるように、新しいトナーカートリッジを用意してください。
ニュウリョクシタニチジガチガイマス	＜タイマー　セッテイ＞の＜ヒヅケ／ジコク　セッテイ＞で、無効な数値を入力した状態で［OK］を押した。	正しい数値を入力し、［OK］を押してください。
パスワードガ　チガイマス	・ 入力したメモリ受信の暗証番号が間違っています。 ・ 入力したシステム管理暗証番号が間違っています。	・ 正しい暗証番号を入力してください。(→操作ガイド（総合編）「第 3 章 送信と受信」「受信応用機能」) ・ 正しい暗証番号を入力してください。(→操作ガイド（総合編）「第 6 章 システム管理設定」「システム管理暗証番号を設定する」)

メッセージ	原因	処置
プリンタ　データエラー **プリンタヲ　テンケン　シテクダサイ**	コンピュータから送信されたデータをプリントできない。	・アプリケーションが正しくインストールされているか、またはケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・メモリ残量を確認してください。（→操作ガイド（総合編）「第 9 章 付録」「メモリ残量を確認する」）
ミトウロクデス	・宛先指定時に未登録のスピードダイヤルを指定した。 ・［電話帳］を押して宛先を検索しようとしたが、宛先が未登録だった。	スピードダイヤルに、宛先を登録してください。詳細については、「ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する」（→P.3-6）を参照してください。
ムコウデス	・受話器を取り上げた状態または［オンフック］を押した状態で、グループダイヤルを指定した。 ・グループダイヤルの登録先として、登録済みのワンタッチダイヤルを指定した。 ・ワンタッチダイヤルの登録先として、登録済みのグループダイヤルを指定した。 ・同報送信時に宛先をテンキーで 17 件以上指定した。 ・中継送信時に宛先をグループダイヤルで指定した。	・グループダイヤル以外で宛先を指定してください。 ・グループダイヤルの登録先として、未登録のワンタッチダイヤルを指定してください。 ・ワンタッチダイヤルの登録先として、未登録のワンタッチダイヤルを指定してください。 ・テンキーで指定できる宛先件数は最大 16 件です。 ・グループダイヤル以外で宛先を指定してください。

メッセージ	原因	処置
メモリガ　イッパイデス	・ジョブがいっぱいになった。 ・メモリに保存できる送受信ジョブ数が最大件数に達した。	・メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。 ・原稿を分割して送信してみてください。 ・解像度を下げて送信してください。 ・本製品のメモリは、送信／受信合わせて最大で256ジョブ分のデータを蓄積できます。（相手側のファクスがCanon Canofax L230 で、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合のジョブ数）メモリ内の文書が送信されるまでお待ちください。または、メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。
メモリ　ザンリョウ XX%	利用できるメモリ残量のメッセージで、送信時に原稿を ADF にセットすると表示される。	メモリ容量が不足する場合は、メモリ内の文書が送信されるまでお待ちください。メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。
ヨウシガ　ツマリマシタ トナーカバーヲ　アケテクダサイ	本体内で紙づまりが起きた。	つまった用紙を取り除いて（→用紙がつまったときには：P.8-1）、用紙給紙部に用紙をセットしなおしてください。
ヨウシヲ　セット　シナオシテクダサイ トナーヲ　セット　シナオシテクダサイ	・用紙が正しくセットされていない。 ・トナーカートリッジが取り付けられていないか、正しく取り付けられていない。	・セットされている用紙をいったん取り除き、もう１度セットしなおしてください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙をセットする」） ・トナーカートリッジを正しく装着してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.7-8）
ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ	用紙給紙部に用紙がセットされていない。受信文書のプリント時の場合、このエラーメッセージは<ジュシンデータプリントデキマセン／エラーカイジョゴ　プリント>のエラーメッセージと交互に表示される。	用紙をセットしたあとに［OK］を押してください。

エラーコード

エラーコードは、エラーが起きた場合にエラー送信レポートまたはエラー受信レポートに記録される 4 桁のコードです。

2007 12/31 15:50 123XXXXXXX ｷﾔﾉﾝ P.001

****
***　ｴﾗｰｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ　***
****

ｳｹﾂｹNO.	ﾂｳｼﾝﾓｰﾄﾞ	NO.	ｱｲﾃｻｷ	ｶｲｼｼﾞｺｸ	ﾍﾟｰｼﾞ	ﾂｳｼﾝｹｯｶ
0001	ｿｳｼﾝ G3	001	ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ 111XXXXXXX	12 / 31 15:50	000	STOP 00 ' 00
			00A0 : ｿｳｼﾝｦ ﾁｭｳｼｼﾏｼﾀ			

エラーコード

詳細については、操作ガイド（総合編）「第 9 章 付録」「レポートを自動でプリントする」を参照してください。

エラーコードについては、以下の表を参照してください。

エラーコード	原因	処置
0001	相手先のファクスが G3 ファクスではない。	相手先に確認し、G3 ファクスに送信してください。相手先が G3 ファクスを持っていない場合は、相手先のファクスが対応している通信モードを使って送信しなおしてください。
0070	受信を手動で中止した。	相手先に連絡して、再度送信してもらってください。
0071	メモリがいっぱいになった。	メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。
0080	相手先が 35 秒以内に応答しなかった。	もう一度はじめからやりなおしてください。また、相手先にファクス機を確認してもらうよう連絡してください。海外へ送信する場合は、ファクス番号にポーズを入れてください。
008D	相手機の記録紙がなくなったため送信できなかった。	相手先に用紙を補給してもらうよう連絡してください。
00A0	送信を手動で中止した。	再度送信してください。

エラーコード	原因	処置
00A1	原稿がつまった。	つまっている原稿を取り除いてください。
00FF	リダイヤルに失敗した。	相手先の番号が正しいか、または電話線が正しく接続されているか確認してください。

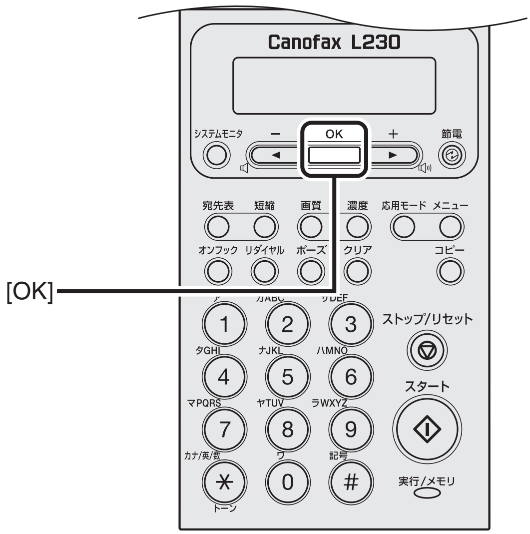
＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞と表示された場合

＜ヨウシ　セッテイ＞メニューの＜カセット＞に設定されている用紙サイズと、用紙給紙部にセットされている用紙サイズが異なる場合に表示されるメッセージです。このメッセージが表示された場合は、＜ヨウシ　セッテイ＞メニューに設定されているサイズの用紙をセットするか、＜ヨウシ　セッテイ＞メニューに設定されているサイズをセットされている用紙サイズに合わせて変更してください。

メモ

- プリントジョブの場合は、本製品ではなくコンピュータ側で用紙サイズを指定してください。
- コピージョブの場合は、コピーが 1 部プリントされたあと、メッセージは自動的に消去されます。＜ヨウシ　セッテイ＞メニューに設定されているサイズの用紙をセットするか、＜ヨウシ　セッテイ＞メニューに設定されているサイズをセットされている用紙サイズに合わせて変更したあと、もう一度コピーをとりなおしてください。

用紙をセットしなおす

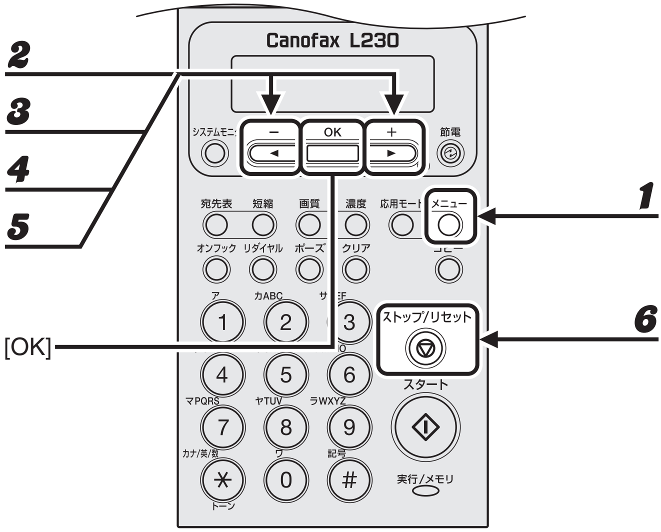


1　**ディスプレイに表示されているサイズの用紙をセットし、[OK] を押します。**

プリントが再開されます。

困ったときには

用紙サイズ設定を変更する



1 ［メニュー］を押します。

2 ［◄ −］または［＋ ►］を押して<ヨウシ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［＋ ►］を押して<カセット>を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［＋ ►］を押して<ヨウシ　サイズ>を選択し、［OK］を押します。

5 ［◄ −］または［＋ ►］を押してセットされている用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。

6 ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

7 ［OK］を押してジョブを再開します。

これで操作は完了です。

電力供給が止まったら

電力供給が止まっている間の機能は、以下のように制限されます。

- 送受信、コピー、プリントはできません。
- 外付け電話機またはオプションのハンドセットを使っての電話はかけられないことがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。
- 外付け電話機またはオプションのハンドセットを使って電話を受けられることがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。

また、停電の発生や電源コードが誤って抜けるなどが原因で電源供給が止まると、メモリに蓄積されていた受信データは消去されます。この場合、電源が再度投入されるとディスプレイには＜ガゾウガ　ウシナワレマシタ＞と表示され、メモリクリアレポートがプリントされます。（トナーが空の場合や用紙切れの場合は除きます。）レポートにはメモリから消去された受信データが最大 60 件まで一覧表示されるため、どのようなデータが消去されたかを確認できます。

トラブルが解決しない場合

本章の説明を参照してもトラブルが解決しない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター（巻末参照）にご連絡ください。
ご連絡の際には、以下をお手元にご用意ください。

- 製品名（Canofax L230）
- シリアル番号（本体裏面のラベルに記載されています）
- 購入先
- トラブルの内容
- トラブルにどのような対処をされたか、およびその結果

注意

本製品から変な音がしたり、煙が出たり変なにおいがする場合は、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

メモ

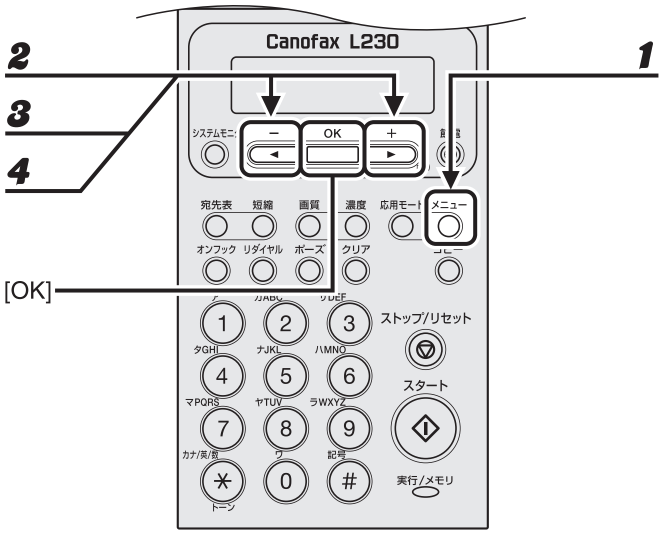
ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

9 各種機能の登録／設定

各種機能を登録／設定する

設定メニューから機能内容を設定／変更することができます。現在の設定内容を確認するには、ユーザデータリストをプリントしてください。

ユーザデータリストをプリントする



1 [メニュー] を押します。

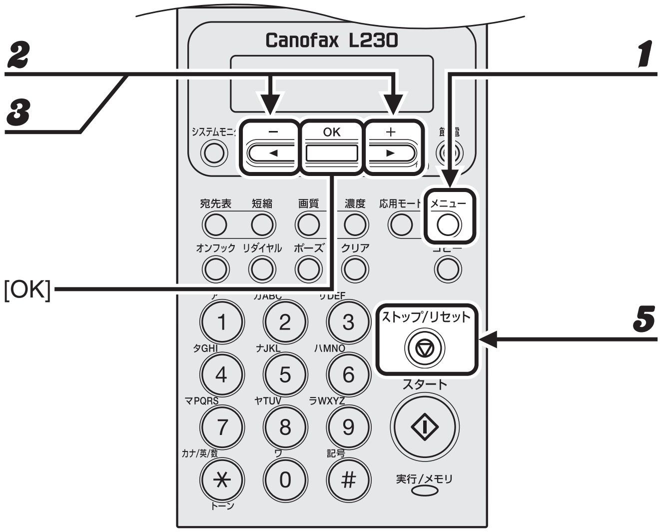
2 [◄－] または [＋►] を押して<レポート　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

3 [◄－] または [＋►] を押して<リストプリント>を選択し、[OK] を押します。

4 [◄－] または [＋►] を押して<ユーザ　データ　リスト>を選択し、[OK] を押します。

プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。

設定メニューを使う



1 **［メニュー］を押します。**

2 **［◄ −］または［+ ►］を押してメニューを選択し、［OK］を押します。**

＜ヨウシ　セッテイ＞
＜オンリョウ　チョウセイ＞
＜キョウツウ　シヨウ　セッテイ＞
＜コピー　シヨウ　セッテイ＞
＜ファクスセッテイ＞
＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞
＜プリント　セッテイ＞
＜タイマー　セッテイ＞
＜チョウセイ／クリーニング＞
＜レポート　セッテイ＞
＜システム　カンリ　セッテイ＞

3 **［◄ −］または［+ ►］を押してサブメニューを選択し、［OK］を押します。**

メモ

サブメニューの詳細は「メニューの設定内容」（→ P.9-3）を参照してください。

4 **設定内容を登録するか、サブメニュー項目に進む場合は、［OK］を押します。**

5 **終了したら、［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

メモ

- ［OK］の前に［ストップ／リセット］を押した場合は、設定内容は保存されません。
- ［メニュー］を押して直前の画面に戻ります。

メニューの設定内容

以下の項目を設定できます。

メモ

以下、表中の**太字**は工場出荷時の設定です。

用紙設定	
設定項目	**設定内容**
1 カセット	用紙給紙部にセットした用紙のサイズと種類を選択します。 （→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-9）
1. ヨウシ　サイズ	用紙給紙部にセットした用紙のサイズを選択します。 （**A4**、OFICIO、BRAZIL-OFICIO、MEXICO-OFICIO、FOLIO、GOVERNMENT-LETTER、GOVERNMENT-LEGAL、FOOLSCAP、LTR、LGL）
2. ヨウシノ　シュルイ	用紙給紙部で使用する用紙の種類を選択します。 （**フツウシ**、フツウシ L、アツガミ、アツガミ H、OHP フィルム）

音量調整	
設定項目	**設定内容**
1 ツウシン　オンリョウ	ファクス送信中の通信音を設定します。（0 ～ 3（**2**））
2 ニュウリョクオン	操作パネルキーの入力音を設定します。（0 ～ 3（**2**））
3 ケイコクオン	送信失敗などのエラーが起きたときの警告音を設定します。 （0 ～ 3（**2**））

共通仕様設定	
設定項目	**設定内容**
1 トナーセーブモード	トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON * この機能は、プリントジョブについては無効になります。

コピー仕様設定

設定項目	設定内容
1 ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ	コピーの初期値を設定します。
1. ガシツ	コピーする原稿の種類を設定します。 ・ **モジ／シャシン** * ・ モジ ・ シャシン * * ＜モジ／シャシン＞、または＜シャシン＞を設定すると、読み取り濃度は自動的に＜シュドウ＞に切り替わります。
2. ヨミトリ　ノウド	コピー濃度を設定します。 ・ **シュドウ**（1 ～ 9（**5**）） ・ ジドウ * * ＜ジドウ＞を設定すると、画質モードは自動的に＜モジ＞に切り替わります。
3. バイリツ	コピーの倍率を設定します。1％刻みで倍率を入力します。（50％～ 200％（**100％**））

ファクス設定

設定項目	設定内容
1 ジュシンモード	受信モードを選択します。（→スタートアップガイド「ファクス受信の設定」「受信モードを設定する」） ・ **ジドウ** ・ ルス TEL ・ FAX/TEL ・ シュドウ
2 キホントウロク	ファクスの基本機能を設定します。
1. ユーザ TEL　バンゴウトウロク	お使いのファクス番号（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」「発信元の情報を登録する」）
2. ユーザリャクショウ　トウロク	発信元のユーザ名／会社名を登録します。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」「発信元の情報を登録する」）
3. ハッシンモト　キロク	発信元の情報を設定します。
ON	発信元の情報を原稿に印刷します。
OFF	発信元の情報を原稿に印刷しません。

ファクス設定	
4. カイセン　シュルイ　センタク	電話回線の種類を自動で設定するか手動で設定するかを選択します。(→電話回線の種類を設定する：P.1-12)
ジドウ	電話回線の種類を自動で設定します。
シュドウ	電話回線の種類を手動で選択します。 ・ **プッシュカイセン** ・ ダイヤルカイセン（**20PPS**、10PPS）
5. ヒョウジュンモードノヘンコウ	ファクス送信の初期値を設定します。
1. ヨミトリ　ノウド	送信する画像の濃度を設定します。(1 〜 9（**5**))
2. ガシツ	送信する画像の解像度を設定します。 ・ **ヒョウジュン** ・ ファイン ・ シャシン ・ スーパーファイン
3 ソウシン　キノウ　セッテイ	送信機能を設定します。
1. ジドウ　リダイヤル	相手先が話し中、または送信エラーが起きた場合、自動的にリダイヤルするかどうかを設定します。 (→操作ガイド（総合編）「第 3 章　送信と受信」「ファクスダイヤル機能」)
ON	リダイヤル方法を設定します。
1. リダイヤル　カイスウ	何回リダイヤルするかを設定します。(1 回〜 10 回（**2 回**))
2. リダイヤル　カンカク	リダイヤルまでの時間を設定します。(2 分〜 99 分（**2 分**))
OFF	リダイヤルしません。
2. ダイヤルジカイセン　カクニン	ダイヤル時に回線確認するかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
4 ジュシン　キノウ　セッテイ	受信機能を設定します。
1. F/T　ショウサイ　セッテイ	＜ FAX ／ TEL ＞モードの詳細項目を設定します。(→操作ガイド（総合編）「第 3 章　送信と受信」「受信応用機能」)
1. ヨビダシ　カイシ　ジカン	着信に応答してから呼び出し音を鳴らすまでの時間を設定します。(4 秒〜 30 秒（**6 秒**))
2. ヨビダシ　ジカン	音声通話の場合に、呼び出し音を鳴らす時間を設定します。(10 秒〜 45 秒（**22 秒**))
3. ヨビダシゴノ　ドウサ	呼び出し時間が経過したら受信モードに切り替えるか、通話を終了するかを設定します。 ・ **ジュシン** ・ シュウリョウ

ファクス設定	
2. チャクシン　ヨビダシ	＜ジュシンモード＞が＜ジドウ＞に設定されている場合、外付け電話機またはオプションのハンドセットの呼び出し音を鳴らすようにするかどうかを設定します。 この設定を＜ ON ＞にした場合、ファクス受信時は、呼び出し音でファクスを受信したことがわかるようになります。電話着信時は、外付け電話機が鳴っている間に受話器を取れば、相手と通話できます。
ON	外付け電話機またはオプションのハンドセットが接続されている場合は、呼び出し音を鳴らします。
ヨビダシ　カイスウ	本製品が応答するまでの着信呼び出し音の回数を設定します。（1 回〜 16 回（**2 回**））
OFF	呼び出し音は鳴りません。（スリープモードに入っているときに、外付け電話機またはオプションのハンドセットが鳴る場合があります。）
3. リモート　ジュシン	リモート受信するかどうかを設定します。 （→操作ガイド（総合編）「第 3 章　送信と受信」「受信応用機能」）
ON	リモート受信します。
リモート　ジュシン　ID	外付け電話機から ID 番号をダイヤルして受信を開始することができます。 0 〜 9 を使用した 2 桁の ID が設定できます。（25）
OFF	リモート受信しません。
4. ジュシン　プリント	受信したファクスをプリントする前に一度メモリに蓄積するか、それぞれのページを受信と同時にプリントするかを設定します。 （→操作ガイド（総合編）「第 3 章　送信と受信」「受信応用機能」）
メモリジュシン	すべてのページを受信してからプリントします。
プリントジュシン	それぞれのページを受信と同時にプリントします。
5. アイテサキ　ハッシンモトキロク	受信したファクスに相手先の発信元情報を印字するかどうか設定します。 ・ **OFF** ・ ON
6. DM セイゲン	番号非通知のファクスの受信を制限できます。（→操作ガイド（総合編）「第 3 章　送信と受信」「受信応用機能」）
OFF	すべてのファクスを受信します。
ON	番号非通知のファクスは受信しません。

ファクス設定	
5 プリント　セッテイ	受信時のプリンタ機能を設定します。
1. ガゾウ　シュクショウ	受信画像がセットされている用紙よりも大きい場合に、受信画像を縮小してプリントするかどうかを設定します。 (→操作ガイド（総合編）「第 3 章　送信と受信」「受信応用機能」)
ON	セットされている用紙のサイズに合わせて画像を縮小します。
OFF	画像を縮小しません。
ガゾウ　ショウリャク	用紙サイズからはみ出す部分を最大24mmまで省略してプリントします。
2. インジケイゾク	トナーが空になった場合にプリントを継続するかどうかを設定します。受信したファクスおよびレポートのプリント時にのみ有効です。(→トナーカートリッジの交換時期：P.7-6) ・ **OFF** ・ ON

宛先表仕様設定	
設定項目	**設定内容**
1 ワンタッチ　ダイヤル	ワンタッチダイヤルの情報を登録します。15件まで登録できます。 (→ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する：P.3-6)
1. ナマエ	相手先の名前（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。
2. デンワバンゴウ	相手先のファクス番号（スペースを含め最大 50 桁）を登録します。
3. ショウサイ　セッテイ	詳細設定をするかどうかの設定をします。
OFF	詳細設定をしません。
ON	詳細設定をします。
F コード	F コード（最大 20 桁）を登録します。
アンショウバンゴウ	F コードに付加する暗証番号（最大 20 桁）を登録します。
2 タンシュク　ダイヤル	短縮ダイヤルの情報を登録します。100 件まで登録できます。 (→ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する：P.3-6)
1. ナマエ	相手先の名前（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。
2. デンワバンゴウ	相手先のファクス番号（スペースを含め最大 50 桁）を登録します。

宛先表仕様設定	
3. ショウサイ　セッテイ	詳細設定をするかどうかの設定をします。
OFF	詳細設定をしません。
ON	詳細設定をします。
F コード	F コード（最大 20 桁）を登録します。
アンショウバンゴウ	F コードに付加する暗証番号（最大 20 桁）を登録します。
3 グループ　ダイヤル	グループダイヤルの情報を登録します。グループダイヤルは 15 件まで登録できます。1 つのグループダイヤルには最大 50 件まで宛先を登録できます。 （→グループダイヤルを登録／編集する：P.3-12）
ナマエ	グループ名（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。

プリント設定	
設定項目	**設定内容**
1 エラータイムアウト	コンピュータからデータが受信されない場合、エラーになるまでの時間を設定します。
ON	エラータイムアウト時間を設定します。（1 秒～ 300 秒（**15 秒**））
OFF	エラータイムアウトを設定しません。

タイマー設定	
設定項目	**設定内容**
1 ヒヅケ／ジコク　セッテイ	現在の日付と時刻を設定します。 （→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「日付／時刻を設定する」）
2 ヒヅケ／ジコク　タイプ	日付／時刻タイプ日付の表示形式を設定します。 ・ **YYYY MM/DD** ・ MM/DD/YYYY ・ DD/MM YYYY
3 オートスリープ	本製品が一定時間（3 分～ 30 分）使用されない場合に、自動的にスリープモードに入るかどうかを設定します。 （→スリープモードを設定する：P.1-14） ・ **ON** ・ OFF

調整／クリーニング	
設定項目	**設定内容**
1 テイチャクキノ　クリーニング	定着器ローラをクリーニングします。 (→定着器のお手入れ：P.7-4)
2 トクシュモード U	高温多湿、または低温低湿環境での印字品質を改善します。 ・ **OFF** ・ ON

レポート設定	
設定項目	**設定内容**
1 シヨウセッテイ	レポート設定を設定します。(→操作ガイド（総合編）「第 9 章 付録」「レポート／リストの概要」)
1. ソウシンケッカ　レポート	送信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。
エラージノミ　プリント	エラー時のみ、レポートをプリントします。
プリントシナイ	レポートをプリントしません。
プリントスル	原稿を送信するごとにレポートをプリントします。
2. ジュシンケッカ　レポート	受信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ **プリントシナイ** ・ プリントスル ・ エラージノミ　プリント
3. ツウシンカンリ　レポート	60 回通信するごとに、通信管理レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。 ・ **プリントスル** ・ プリントシナイ
2 リストプリント	各種レポート／リストをプリントします。
1. ソウシンケッカ　レポート	送信結果レポートを手動でプリントします。
2. ジュシンケッカ　レポート	受信結果レポートを手動でプリントします。
3. ツウシンカンリ　レポート	通信管理レポートを手動でプリントします。
4. メモリデータ　リスト	メモリに蓄積されているジョブの一覧をプリントします。
5. メモリイメージ　プリント	予約されているジョブの情報と最初のページをプリントします。
6. ワンタッチ　ダイヤル　リスト	ワンタッチダイヤルに登録された宛先の一覧をプリントします。

レポート設定	
7. タンシュク　ダイヤル　リスト	短縮ダイヤルに登録された宛先の一覧をプリントします。
8. グループ　ダイヤル　リスト	グループダイヤルに登録された宛先の一覧をプリントします。
9. ユーザ　データ　リスト	現在の設定情報の一覧をプリントします。(→操作ガイド（総合編）「第 9 章 付録」「各種機能を登録／設定する」)

システム管理設定	
設定項目	**設定内容**
1 システムカンリシャ　セッテイ	<システム　カンリ　セッテイ>の内容を保護するため、システム管理暗証番号を設定します。システム管理暗証番号を設定すると、<システム　カンリ　セッテイ>メニューに入るたびにシステム管理暗証番号を入力する必要があります。
1. カンリ　アンショウバンゴウ	システム管理暗証番号（最大 7 桁）を登録します。
2 ツウシン　カンリセッテイ	通信機能を設定します。
1. メモリジュシン　セッテイ	受信原稿はすべてメモリで受信し、自動的にプリントしないようにするかどうかを設定します。(→操作ガイド（総合編）「第 3 章 送信と受信」「受信応用機能」)
OFF	メモリ受信を無効にします。
ON	メモリ受信を有効にします。
1. パスワード	メモリを不正なアクセスから保護するための暗証番号（最大 7 桁）を登録します。
2. ジカン　シテイ	メモリ受信の時間を指定するかどうかを設定します。
OFF	メモリ受信の時間を設定しません。
ON	メモリ受信の時間を設定します。 ・ カイシジコク（初期値：00:00） ・ シュウリョウジコク（初期値：00:00）

システム管理設定	
3 ソウシンキノウノ　セイゲン	宛先に関する操作や送信時に使える機能を制限します。
1. リダイヤルノ　セイゲン	［リダイヤル］を押してリダイヤルする機能を無効にするかどうかを設定します。（→操作ガイド（総合編）「第 6 章 システム管理設定」「宛先操作／送信機能を制限する」） ・ OFF ・ ON
2. ファクス NO. カクニン ニュウリョク	ファクスを送信するときに、入力したファクス番号を確認するかどうかを設定します。（→操作ガイド（総合編）「第 6 章 システム管理設定」「宛先操作／送信機能を制限する」） ・ OFF ・ ON
4 ファームウェア　コウシン	本製品のファームウェアをバージョンアップする必要がある場合に実行します。

10 付録

主な仕様

全体的な仕様	
● 形式	パーソナルデスクトップ
● 電源	100V　50/60Hz
● 消費電力	最大消費：400W 以下 待機時消費：8W 以下 スリープモード時消費：約 3W
● ウォームアップタイム	12.0 秒以下* （温度：20 ℃、湿度：65%。本製品に電源コードを差し込んでから待受画面が表示されるまで） * ウォームアップ時間は、本製品の使用状況や環境によって異なることがあります。
● 重量	約 8.7kg（トナーカートリッジを含む）
● 外形寸法（幅 × 奥行 × 高さ）	400mm × 386mm × 221mm （オプションのハンドセット非装着時） 484mm × 386mm × 221mm （オプションのハンドセット装着時）
● 設置スペース（幅×奥行）	600mm × 780mm （オプションのハンドセット非装着時） 684mm × 780mm （オプションのハンドセット装着時）
● 動作環境	温度：7.5 ℃～ 35 ℃ 湿度：5%～ 90%相対湿度
● 使用可能な原稿	→ P.2-1.
● 使用可能な用紙	→ P.2-4.
● プリント範囲	→ P.2-5.
● 読み取り範囲	→ P.2-2.

ファクスの仕様

● 適用回線	公衆交換電話網（PSTN）[*1]
● 互換性	G3
● データ圧縮方式	MH、MR、MMR
● モデム速度	33.6Kbps 自動フォールバック
● 伝送速度	ページ当り約 3 秒[*2]　ECM-MMR、33.6Kbps でメモリから送信
● 送信／受信メモリ	最大約 346 ページ[*2] （送受信の総ページ数）
● ファクス解像度	＜ヒョウジュン＞：8 画素／ mm × 3.85 ライン／ mm ＜ファイン＞：8 画素／ mm × 7.7 ライン／ mm ＜シャシン＞：8 画素／ mm × 7.7 ライン／ mm ＜スーパーファイン＞:8 画素／ mm × 15.4 ライン／ mm
● ダイヤル方式	・ スピードダイヤル ワンタッチダイヤル（15 件） 短縮ダイヤル（100 件） グループダイヤル（15 セット× 50 件） 宛先表ダイヤル（宛先表キーによる） ・ 通常ダイヤル（テンキーによる） ・ 自動リダイヤル ・ 手動リダイヤル（リダイヤルキーによる） ・ 同報送信（131 件）
● 受信方式	・ 自動受信 ・ 電話機によるリモート受信（初期設定 ID: 25）

レポートの仕様

● レポートの種類	・ 通信管理レポート（60 件ごと） ・ 送信／受信結果レポート ・ 発信元情報

電話の仕様	
● 接続可能な電話	・ハンドセット（オプション） ・外付け電話機／留守番録音機／データモデム

コピーの仕様	
● 読取解像度	203dpi × 300dpi
● 出力解像度	600dpi × 600dpi
● コピー倍率	50% ～ 200%、1% 刻み
● ファーストコピータイム	23 秒以下（A4）
● コピー速度	等倍：A4 12 枚／分
● コピー部数	最大 99 部

プリンタの仕様	
● 印刷方式	電子写真方式（オンデマンド定着）
● 用紙積載可能枚数	150 枚（積載高さ 15mm 以下）
● 排紙枚数	100 枚（64 ～ 75 g/m^2）
● プリント速度	等倍：A4 14 枚／分
● 出力解像度	600dpi × 600dpi
● 階調	256 階調
● トナーカートリッジ	→ P.1-10.

*[1] 公衆交換電話網は、現在 28.8Kbps までのモデム速度に対応しています。ただし、電話回線の状態により異なります。

*[2] ITU-T（国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門）標準チャート No.1、MMR 標準モードによる。

メモ

仕様は予告なく変更されることがあります。

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。

本製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。
キヤノンキヤノフアクスホームページ
■ http://canon.jp/canofax/

索引

本書は本文に再生紙を
使用しています。
本書は揮発性有機化合物（VOC）
ゼロのインキを使用しています。

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全 国 共 通 番 号）

050-555-90055

［受付時間］　〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FT5-1322　(020)　XXXXXXXXXX